京城日報

十七日夕刊

◎講和提議と米國態度

米國政府は羅馬法王の講和提議に關し正式の通告に接する迄は之れを放任すべし而して右提議に對し何等か考慮を加ふることするも廾は聯合諸國と商議したる後ならざる可からずと官邊にて聲明せり（華盛頓電報）

◎法王講和條件發表期

羅馬法王の講和新提議條件は追つて具體的に發表さる可く一切の基礎條件を具ふと（桑港電報）

◎講和提議は獨逸の依頼

米國外交官社會の觀測

外交官社會にて一般に言明する所に據れば右提議は獨逸の意を受けたるものにて戰爭の目的に關し各々意見を異にせるに乘じ聯合國間を離間せんとする獨逸の魂膽に出でたるものなりと（華盛頓電報）

◎米政府更に軍費貸付

米國政府は聯合國に對し更に三十億弗乃至四十億弗の貸出をなさんため議會の協賛を求むべし（華盛頓電報）

◎鄭家屯日本兵營倒潰

東遼河氾濫し鄭家屯に於ける日本兵營倒潰せるも人畜に死傷なし（鄭家屯電報）

◎井上工學博士

帝國大學教授工學博士井上匡四郎氏は十六日夜入港關釜連絡船さくら丸より釜山上陸同十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎二大發明出品

臺南製糖會社は製糖工場に於ける廢物を利用して二大有益品の發明を爲したるが一はパルプにして他は硫化染料たり此二大發明は其後研究を積行するに從つて將來頗る有望なるべき成績を示しつゝあるを以て今回特に總督府より化學工業博覽會へ出品すべき物品中に加へらるゝこととなり今其兩種に關する出品解説の概要を見るに左の如し（東京特信）

▲パルプ原料　製糖工場に生ずる甘蔗の搾滓（バガス）を原料とせるを以て其主産は其甘蔗收穫高に比例し臺灣全島にて一ヶ年の見込生産額約百億萬封度とす製法は前記のバガスを苛性曹達液及びクロール石灰を以て處理することは從來研究に就き行はれたる工程並に製法と略ぼ同様にして目下試驗中につき販賣方法及び相場は未定なるも販路は内外の製紙會社に供給し上等洋紙の原料となすに足れり從來バガスは僅かに燃料として用ゐらるゝ外用途なき廢棄物なりしが今回最も有効に利用せられたるものなり

▲硫化染料原料　は新式製糖工場に於て製糖の爲め排出する濾滓（フイルターケーキ）を原料とするものなれば其の生産額は製糖産出額に比例し臺灣全島にて一箇年の見込生産額約二千五百萬封度とす製法の概要は濾滓（フイルターケーキ）を鹽酸硫酸と共に加熱し石灰分を除去し更に苛性加里及び硫黄を加へて簡單なる操作に依り安價に且つ堅牢なる染料を得るにあり之れ目下試驗中にあり販賣方法及相場の如き一定せられざるも内外の染料商に供給し染料として販賣する見込充分なり濾滓は從來全く用途なく寧ろ捨棄の方法に腐心したる程なるに今回之又最も有効に利用せらるゝに至れり

◎總督邸午餐會

總督官邸午餐會は既記の如く十七日午後零時半より開かれたり當日は主賓國澤滿鐵理事長、牧野法學博士をはじめ山縣政務總監、人見鐵道局長並に鐵道關係主要職員武官、副官秘書官等出席したり

◎金融組合新設

本年度に於て新に設立す可き地方金融組合十個所の内京畿道烏山、全羅北道雲峰、全羅南道南平、慶尙北道新寧、黃海道市邊里、江原道旌善、咸鏡北道大津の七組合は既に設立の許可を得たれば何れも不日業を開始す可く慶尙南道陜川、慶尙南道彥陽並に忠淸北道美山の三組合も亦設立許可申請中なれば遠からず許可の運を得べし因に既設地方金融組合數は之を以て總計二百五十七個を算せり

◎辭令

十五日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府參事官　藤田嗣雄
任陸軍省參事官兼馬政局事務官
敍高等官五等
總督府郡守　李[illegible]榮
陞敍高等官五等六級俸下賜
敍從六位

定價　本紙一部金五錢　一ヶ月金五十五錢　三ヶ月前金一圓六十錢　六ヶ月分前金三圓二十錢
廣告料　五號活字一行金四拾錢
發行兼編輯人　眞田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　編輯局　營業局

◎官製鹽一億斤か

本年の採取高激增

本年の官製鹽は廣梁灣、朱安兩鹽共採鹽開始以來極めて良好の成績を擧げつゝあるは本紙既報の通りなるが其の後採鹽量は益々增加し八月十三日までの製鹽高廣梁灣は六千七百九十萬斤、朱安は七百九十萬斤を算し總計實に七千五百八十萬斤の巨額を見之を前年同期間に比するに廣梁灣は二千五十二萬斤、朱安は五百六十七萬斤、合計二千八百三十九萬斤を激增し既に本年度の收量豫定額約七千八百萬斤に對し九割四歩の採量歩合を示し居れり、此の勢にして推移せば本年度の官製鹽採取高は一億斤を越ゆることを敢て難事に非ざる可しと觀測せらる

◎徵兵旅費改規

徵兵旅費支給に關する府令改正の件は十八日の官報に依り府令を以て發布のことゝなれり右は内地の取扱振を參酌し綜括的に對して直に國費の仕拂を要求し得ることゝなせるものなり

◎新任特務曹長

最近准尉の候補者として第十九師團各隊步兵第四十旅團各隊騎砲重砲兵隊より特務曹長多數士官學校に入學せし事は既報の如きが士官學校に入學中の准尉候補特務曹長は定員外となり居れるに付各隊にては其の補充をなす事を得下士進級の道大に開けたる譯にて現に軍司令部副務曹長中より二名八月十日附特務曹長に進級し隊附に轉任したり

◎間島書堂舉式

日本側の教育を激賞す

間島和龍縣東良上里社西作洞に於ける間島普通學校附屬書堂は明治四十二年同地方の荒蕪地を開拓し日本側書堂として設立されしものにして爾來子弟の教養に盡し著々効果を擧げ居れるのみならず延いて地方人民の教化に資する所尠少ならざるが同校にては今後益々其の發達を期せむが爲め七月二十五日祝賀に兼ね學生並に父兄を主腦として記念式を擧行せり、當日は職員生徒約七十名、父兄五十七名の外男女約百五十名の來賓あり式は午前十時該書堂校庭に於て開始され教師朴獻鎔氏の書堂創立に關する報告、來賓の祝辭生徒の答辭等ありしが、君が代の合唱、訓練されたる一同の體操、日本語に依れる容辭等は出席者一同の感賞を博し又た過般擧行されたる京城觀光團の加入者金句彥氏の京城地方視察演説は聽衆を感服せしめし事一方ならず非常の盛況裡に一同歡を盡して散會したり日本側附屬書堂として斯の如き盛大なる祝賀會を擧行せしは今回を以て嚆矢とする所にして該祝賀會には舊來親支派として日本側書堂に對し反對の態度を執りつゝありし鮮人等も齊しく臨席せしが彼等は或は祝辭を述べ或は書堂の効果を稱讚し又は寄附を申出づる等同地方に在りては未曾有の現象を呈せりと

◎米司令官入京

天津米國駐屯軍司令官ヘール少將は副官ホール氏を隨へ十七日朝南大門驛着汽車にて入京同午前十時在京城米國副領事官カーチス氏の案内にて總督府に長谷川總督、山縣政務總監を訪ひ敬意を表せり

◎早川少將來任期

第一師團參謀長より平壤第三十九旅團長に轉任せし少將早川新太郎氏は二十五日頃入京の筈たるが前任者との事務引繼ぎは軍司令部に於て市川參謀長との間に行はるべし

◎山本高級參謀來期

甲府の步兵聯隊附より軍司令部高級參謀に轉補せし山本中佐は來る二十六日着任すべし

◎理事長著發

國澤滿鐵理事長は臨時株主總會出席の爲め東上の途次上田秘書役山田庶務課員等同十七日朝入京朝鮮ホテルに入れるが同午後七時五十分發列車にて南下す

▲總督訪問　十七日朝入京せる滿鐵理事長國澤新兵衛氏は同日午前十一時總督府に長谷川總督、山縣政務總監以下鐵道局幹部を訪ひ正午辭去夫れより朝鮮ホテルに歩還の上同時半總督邸午餐會に臨めり

◎東拓滿洲行

總裁若くは理事

東洋拓殖會社にて改正定款を附議する爲め開會する臨時株主總會は九月上旬の豫定なりしも諸種の都合上九月下旬に變更されたるに付八月下旬東上の筈なりし石塚總裁は多分九月中旬出發の事となるべき聞く所によれば總裁は當初臨時總會に列席し直ちに歸鮮の上九月中旬滿洲に出張し關係各地を歷訪の意ありたるも前記の如く總會延引となりしに付從つて豫定變更の止むなきに至りしもの、如く多分總裁は九月中旬東上前一應滿洲の旅行をなす事となるべく或は總裁の京城離任を許さゞる事情を生ずれば松平理事滿洲に向ふべく何れにせよ近く重役の滿洲行となる由

◎井上博士入京

東京帝國大學教授工學博士井上匡四郎氏は十七日午前八時五十分南大門驛著汽車にて入京せり

◎荒井氏全癒

痔瘻病に擁尿病を併發し更に關節炎を患ひて鎌倉に轉地療養中なりし前總督府度支部長官荒井賢太郎氏は容態一時重大なりしも其後漸次輕快に赴き近時は殆ど全快せるより今回鎌倉を引上げ東京小石川金富町の自邸に歸れる旨京城所に通知ありたり因に氏は中秋好季節を俟ちて渡鮮の意ありと

◎志賀剣川氏動靜

早大講師志賀重昂氏は十七日午後五時十分南大門驛着列車にて元山より京城に歸り既報早大校友會並に札幌農學校々友會の招待會に臨みたる上午後七時より朝鮮銀行に於て講話を試み同九時十分發滿鮮急行列車にて南大門驛出發東京へ向ひ歸途に就く筈

◎駐奉佛領事通過

奉天駐在佛國領事ニラペトゥ氏は十七日夜南大門驛通過内地に向ふ

◎千葉視察團下仁

入京中の千葉縣視察團は十六日夜仁川に向へり

◎東淸運賃問題

東淸鐵道貨客運賃値上問題に關しては既報の如く滿鐵側より抗議する處あり去る十一日東淸鐵道哈爾賓支社に於て兩鐵道代表者の會合を催したる東淸側は缺席者多く遂に何等要領を得るに到らざりし旨滿鐵本社に入電ありたり時恰も滿鐵哈爾賓公所長庄司鐘五郎氏要務を帶び本社滞在中なりしを以て同氏は直に電報を以て交渉書類を作製し哈爾賓公所に送致すると共に先づ東淸支社が滿鐵の交渉に應じ得る權限の有無を確め而して後該書類により交渉せしむる事となしたりと

◎朝鮮師團の機動演習

駐箚軍參謀長　市川少將談

新任軍參謀長市川堅太郎少將を訪ふ頭腦がいかにも明晰らしい小柄の人金澤訛りを幾分交へつゝ語る、來任した許りでまだ何事も手に付かないゴタ〳〵してゐる、京城には日鮮併合當時

▲第二師團　に參謀長として暫らく任にあり寺内總督よりよく叱言を頂戴してゐたものだ其後昨年平壤の旅團長として來鮮する迄朝鮮の地を踏まなかつたが京城を除く外地方の狀態は大して變化してない、京城は朝鮮の首都だけ總ての點に於て日新進歩改善して行きつゝあるやうだ、本年秋期の機動演習が目下參謀部で計畫中だが平壤旅團の龍山平壤兩步兵聯隊の對抗は多分京畿道と黃海道の道境地方で行ふ事となるであらう之れには龍山の砲兵中隊と騎兵中隊の若干が參加する筈である又羅南旅團の羅南咸興兩步兵聯隊を主力とする

▲對抗演習　は騎砲工兵隊も參加の上國境附近で行ふやうにならう、大邱第四十旅團の大邱大邱聯隊の對抗は之れも南鮮の某地點で演習し鎭海重砲兵隊並に龍山騎兵中隊が參加する筈である、而して其の演習開始期は第十九師團管下の羅南平壤兩旅團は十月十五日より又第四十旅團は多分二十三四日頃より開始の事となるであらう朝鮮でかく機動演習を個々別々にやるのは遺憾である、師團の首腦部でも本年は旅團對抗位の演習をやつて見たいとの計劃を樹てられたやうじやが第一交通が不便なため若し師團の理想のやうに第十九師團の兵力を一ケ所に集中するとすれば少なくも一月半位の時日を要する、而して少なからぬ經費を投ぜねばならぬ、經費は先づ問題なしとするも

▲丁度退營期　を眼前に控へた多數の兵士を一ヶ月半も演習のため行軍をやらしておくと云ふ事は各種の遺憾があり本年は遂に中止となつた併し之等の困難を排除しても可成早く師團の演習位はやり得るやうにしたいものである朝鮮の兵器製造所も管轄が違ふ故かまだ表向きの通知は

▲陸軍省　から來ない併し其の位置は京城日報に屢々書いてあるやうに平壤と云ふ事は先づ間違ひなからう、又平壤は非常の期待を以て待つてゐるやうだ

◎漢城銀行增給

歐洲戰亂の結果諸物價騰貴の趨勢に鑑み株式會社漢城銀行に於ては八月一日より當分の中戰時手當として下級行員に對し一割乃至一割五分を增俸せりと

◎鮮人勞働紹介社設立

朝鮮人勞働者を内地の各官公署諸會社に紹介供給し兼ねて朝鮮各地に鮮人人夫供給の目的を以て渡邊友一、東郷太郎、古賀文助、田中三郎、小川隼人、高山孝行、河野寅之助諸氏相圖り株式會社鮮人勞働紹介社を創立する計劃を以て既に數回委員會を開催し大垣丈夫氏を創立委員長に推し目下其筋に認可申請中なりと

◎朝鮮瓦電總會

朝鮮瓦斯電氣株式會社にては來る廿七日東京有樂町保險協會に於て株主總會を開催し本年度の營業報告、貸借對照表、財產目錄、損益計算書、利益分配案承認の件、監査一名增員選擧の件、前取締役社長牟田口元學、前常務取締役佐藤潤象、前取締役大池忠助同小泉策太郎、前監査役迫間房太郎後藤碁吉氏に慰勞として金員贈呈の件等を附議する筈なるが本期の純益金は五萬六千三百十二圓八十五錢一厘にして株主配當金は一株に付七十九錢年七步强なりと（釜山）

◎京奉急行休止

京奉鐵道にては先週來露國々境封鎖のため急行列車に乘車すべき旅客頗る減少したるを以て當分の間急行列車の運轉を休止するに決定京城管理局にも通達し來りしが其の後水曜日北京發金曜日奉天發の直通列車は特別寢臺車を連結し滿鐵よりの急行列車聯絡旅客の便を圖るべしと

◎水間警務部長

慶尙南道警務部長水間春明氏は管内巡視中のところ十六日午前十時三十分發列車にて釜山出發密陽を經て歸署せり

◎松井中佐通過

軍司令部高級參謀より山形聯隊附に轉せし松井中佐は十六日朝來釜同日午後六時出帆の陸軍御用船安平丸に乘組宇品に向ひたり（釜山）

◎元山より（元山）

▲朝鮮保勝會の補助六百圓を受けて運轉を計畫せる平康、末輝里間の金剛山探勝自動車は數日前之が試運轉を開始せるに何分にも道路未だ完全ならざる爲め結局成績面白からず中途にして運轉を中止するに至れりとは該山探勝者の爲め遺憾の事と謂ふ可し

▲當府にては去る十一日府協議會員を招集し屠場新設に關する諮問を爲せり新設費の總經費は一萬五百圓にして右經費は最初計劃位置を變更したる爲め該土地を賣却して其一分を得ると共に更に六千圓を起債する豫定也と云ふ

▲客月中に於ける當港沿岸移出入貿易額は移出に於て五十四萬四千三百七十二圓移入に於て五十萬九千六百七十八圓計百五萬四千五十圓にして之を前月に比せば移出にて十九萬六千三百九十三圓移入にて十八萬八千六百八圓計三十八萬五千一圓を各減退を示せり之れに夏枯れ季節として一般の取引稍閑散なると諸物價の昂騰に伴ふ荷動薄なるに基因せるもの、如しと

▲北鮮を視察せんとて去る十三日夕著元せる錦城中井喜太郎氏の齎せる所に依れば曾て大田黑重五郎、吉川博士、寒川工學士等に依つて企圖された金剛山下の水力電氣事業は愈々本年三月總督府の認可を得たれば之が事業着手は明年初春よりす可く而して其計劃たるや鴨綠江の上流即ち金剛山脈より日本海沿岸に向ふ可き地域に千數百尺の落差を利し之に依りて電力を起すこと云ふに有り更に電力を利して爲す可き事業は原氏の擔當にかゝる三個の島嶼を連結築造し湖内には優に三千噸級の汽船數隻を繋留し得る樣ならしめ茲にカーバイトの製作を開始す可き豫定なりしも中途製作事業に換ゆるに製鐵事業を以てせんと此番大部分を占めたれば漸く之が調査を開始す可き土地の檢分を兼ね來元せるものなりと云ふが若し果して該事業の實現するあらんか元山の將來は築港の議成と相俟つて一般の面目を一新するを得ん

▲當北鮮沿岸航行の大阪商船及び互光商會は來る十月一日當地方貨物運賃の協定を爲し現今の賃金に約一割を値上げする事となりたりと（元山）

蓄堂結城詩家來京城賦贈　阿部無佛

遮莫遊歷入燕雲。滿地兵塵南北分。相逢漢陽何限感。千章夏木鬱氤氳。

蓄堂曰　余襲者謁曲阜孔廟、尋上泰山、而入燕京、適遇兵亂、民物慘癈、更遊萬里長城、更弔明十三陵、有感于歷代興亡之跡焉、今歸途過朝鮮、雨露光被、昇平有象、不啻天壤之比也

無佛居士見贈詩次韻卽答　結城蓄堂

燕都草木慘風雲。一戰天壇成敗分。誰識漢陽新氣象。無山無水不氤氳。

鎭江山

鎭江山下水東流。兩岸烟波送客舟。淸叟不關興廢事。無邊風月一閒鷗。

鴨綠江

鴨綠江流注渤溟。森茫烟水接天青。飛欄橫架三千尺。橋影如虹落遠汀。

龍巖浦

烟水涵空曉日銜。壓檣檣影見是龍巖。夜來雨過江流漲。恰有長風送一帆。

安東

晩宿安東驛。秋風雁影寒。孤蜂傳號磬。暮樹隔漁紅。聖擁玄菟塞。波涵鴨綠江。猶懷疇昔夢。髣髴落蓬窓。

統軍亭

夕陽秋色上林樹。百戰山河指掌看。倔强英雄呼不起。統軍亭外雁聲寒。

義州

萬人家連水淵。隔江山色靄迷烟。秋風八月義州路。想到天兵鏖戰時。

人事消息

▲大阪金剛山探勝團一行　十七日朝明發元山へ
▲國島莊平氏（三菱社員）　十七日朝入京天興樓へ
▲中村喜太郎氏（東京時計商）　同上
▲井上正雄氏（鑛業家）　同上
▲白川晟六氏（同上）　同上
▲國井武永郎氏（鑛業家）　十六日午前來釜同夜高麗丸にて内地へ
▲河野正次郎氏（元第一銀行釜山支店長）　歸る二十日夜出港郵船高麗丸にて東上の筈
▲竹中多計吉氏（共益社專務）　十六日夜歸京
▲古川岩太郎氏（鎭海要港司令官副兵大佐）　秋山軍港要港司令官及び日本水下園要港司令官見送の爲め釜山に來著十五日午後十一時發列車にて歸任
▲猪原文一氏（永登浦驛長）　十六日夜歸京
▲中社金助氏（警部）　元山警察署より鍾山警察署長を命ぜられ十六日着任す
▲湯淺凡平氏（代議士）　十七日午前退京内地へ
▲宇夏泰氏（子爵）　十七日午前釋王寺へ
▲國藤嘉氏（參兵大尉）　十六日午後入京天眞樓
▲京都觀察團一行二十十名　十六日午後安東より入京
▲牧山耕二郎氏（新高製菓專務）　十七日朝入京牧山氏宅へ
▲牧山菊砂氏（帝國製菓專務）　同上

浴後に

○萬事新しく行く露國にては、カンパニナ公爵夫人を、慈善部次官に任命し、年俸一萬二千留を支給すと。女の大官任命、蓋し世界中之を以て嚆矢とすべし。日本のお轉婆女史達以て如何となす。

○英軍は近時、金網張の艦を造り獨捕虜來らば、不取敢其中に投じ、以て番兵の數を減少せんとすと。全くの鳥獸扱には、道の獨兵も閉口すべし。而し乍ら彼亦野獸に等しければ、金網の艦は最も適當なる考案と云ふべし。

○田尻北雷博士九州講演中、總督に由り玄米主義にて押し通し、歡迎會と聞かば、御馳走と歡迎は別物なり、若し會費一圓以上ならば御免蒙ると。善哉言や。之れを聞かば、朝鮮邊にも耳の痛き連中多かるべし。

二版　時間表　（南行）（北行）

●朝鮮の尼さん探訪(1)

◆思掛け無い寺中のテニス□□男禁制の尼寺を訪れる□□お經本を放り出して此をご覽なさい□

（鮮人青年のものした）十寺夏籠りの記……一…… 秦學文

昨夜は熱のために苦しめられて、今朝は少し寢坊をした。外では小供等の騷ぎやら大人の足音で中々騷々しい。何か事件でも起つたのではないかと眼を擦りながら障子より首を出して見たが別に何にも變つた事はない樣である。ハテ寺として餘り騷々し過ぎると思つて、通り掛かりの坊主に聞いて見ると、それも道理、この寺には

▼大坊主小坊主 ―合せて八十何人―

それに雇人が二十幾人、皆で百何人ゐるそうである。毎日の樣にこんなに騷々しくては少しも寺の氣分を味ふ事が出來ぬだらうと思つて聊か不快に感ずる。

食後は小僧等に呼ばれて一緒にテニスをやる。寺に來てテニスをやらうとは實に思ひ掛けない事である。愈々以つて寺の樣な氣分がしなくなる。何だか寺内を見物したくもなく坊主も訪ねたくない。この邊にまた他に寺はないかと聞くと、山を越へて往くと安養庵といふ寺があるそうである。杖の代り傘を突きながら

▼山路を五六丁 ―ばかり往くと―

山と山との間に小ジンマリした寺が見ゐる。何となく懷かしい樣な氣がして驅け付けて見ると、こゝは男禁制の尼寺である。本堂の側に小さな藁葺の小屋があつたから往つて見ると、小奇麗な部屋の中で針仕事をしてゐた五十歳ぐらゐの尼さんが私の入つてゆくのをジロリと眺めて見て南無阿彌陀佛とつぶやきながら、無言のまゝまた仕事を續ける。私は聊か好奇心に驅られて、二言三言話し掛けて見たが、先生五月蠅がつてよく返事をして呉れない。私は何だか妙にこの尼さんの側を離れたくなかつたので。

▼側に立つて ―ジツト尼さんの果無―

を見て居つた。尼さんは一心に縫目を通してゐたが、不意に針がポキリと折れた。尼さんは急に癇癪を起して『畜生！忌々しい。本當に硬い木綿だね。これぢや針の種が切れるわい。南無阿彌陀佛！』と、ぶつ〳〵つぶやく。私は本堂に上つて住持尼を尋ねて何か話かして呉れないかといふと、先生ニコ〳〵笑ひながら『小僧は何にも存じません。こゝに御經が御座いますから何卒御讀下さい。』と、法華經を突き出す。

●三十代議士等 選擧違反判決

政友會代議士三土忠造氏の選擧違反事件に連坐し目下控訴中の前代議士日西孫太郎氏等外四名は十七日大阪控訴院にて禁錮二箇月の判決言渡ありたり（大阪特電）

●風流博士實名を匿す

岡山醫學專門學校教授醫學博士諏訪英一氏は藝妓二名を伴れて高松に赴き宿泊せし所十六日臨檢に遭ひし際博士は實名を明さゞりし爲め高松署長官舍まで同行を求められ取調べを受け遂に實名を自白したり（大阪特電）

●小學校長結束して郡長排斥

大分縣南海部郡長熊谷賴太郎氏（元京城居留民團長）に對し小學校長結束して同氏の排斥運動を開始したり（大阪特電）

●堺市 晝夜斷水

堺市にては十七日より水道晝夜とも愈々斷水を決行せり（大阪特電）

●墮落せる中尉 位記返上を命せらる

咸興第七十四聯隊附歩兵中尉木本光太郎は本月十三日附官報を以て本官を免じ位記の返上を命せられたり光太郎は北海道に生れ幼少の頃より

▲家庭の關係 は甚だ面白からざるものありしが志を軍人に立て士官候補生となるや明治四十年十二月第七師團歩兵第二十六聯隊附少尉に任官し四十三年十一月中尉に昇進し昨年增師と共に第七十四聯隊第一大隊附として同大隊と共に渡鮮元山に駐在する事となれり最初の中は謹愼し居りしも土地に馴れると共に窮屈なる將校宿舍にて無風流な從卒の手酌も味なしとて市中に一戸を構へ料理屋遊廓等に入浸り軍人にあるまじき

▲放埒の限り を盡すを佐竹同大隊長の知る所となり痛く訓戒を加へたる事あり其當座は謹愼を裝ひ居りしも間も無く料亭清見樓に寄食せるお雪と呼ぶ女將の娘と馴れ合ひ斯くと約半年の間關係を繼續する中お雪には他に一人の情夫ありて光太郎と度々鞘當を演じ居るを又も大隊長の知る所となり遂に光太郎に謹愼を命じたり然るに光太郎は週番の當夜營外巡視を爲すとて營内を出で密かに前記料亭に忍び込み

▲情婦と密會 せし事發覺したれば大隊長は彼の一度謹愼せる精神に幾度かの戒告を與へ嚴罰を命ずるも到底改悛の情無きを思ひ恨を呑んで遂に上司に手續を爲したる次第なりと

●驛員窃盜事件

馬山驛助役菅野周平(三一)同驛夫平木光藏(二三)外一名及び貨物係小林長三郎の竹窃盜事件公判は十六日引續き馬山支廳にて開廷せられ菅野、小林は懲役二ケ月、二年間刑の執行猶豫、平木は懲役四ケ月、金光藏は笞六十の宣告ありたり（馬山特電）

●伊藤公の書を僞筆して騙取

神戸市荒田町二丁目生れ京城壽町居住吉川武四郎(二一)は八月四日午後三時頃黄金町二丁目十八銀行支店前に於て朝鮮煙草株式會社支店所有の自轉車一輛(二十圓)を攫つ淺ひ僞六月下旬頃居宅にて故伊藤博文公の僞筆をなし落款は相棒なる廣島市生れ黄金町三丁目居住長野秀吉(二九)が石輪を以て調製したるものを押捺して僞筆書四枚を完成し兩名共僞名して壽町居住の渡邊某外三名に合計四圓六十錢計りに賣却したること發覺して本町署に引致さる

●領事の面前で毒を仰ぐ

波蘭人、旅行券下附を拒まれて

波蘭產れアウストランド(四五)は十五日大阪へ來り所持金三百餘圓あるのみにて十六日神戸駐劄の露國領事に旅行券下附方を願出でしも許可されざるため領事の面前にて毒を仰ぎて自殺したり（大阪來電）

●邦人二名

支那兵に慘殺さる 吉林に在留せる邦人の憤慨

吉林來電に據れば磐石縣の山中にて支那兵の爲め日本人一名銃殺され又た吉林附近にて高村嘉作なるもの支那兵に慘殺されしとの報ありしに對し在留邦人等は何れも憤慨し居れり（大阪特電）

●赤痢と窒扶斯

京城明治町二丁目四十七番地鈴木よし(二八)は十一日窒扶斯に罹り高井醫院に又大[illegible]れも入院加療中又鍾路六丁目百七十番地梁壽福(一〇)及び若草町五十番地島田きわ(四〇)は十七日赤痢と診斷入[illegible]

入港 八時四十分釜山入港商船丸一二等客一等四名、白川政六、井上正雄、江口精一外人一名▲二等(七一二名)千原多見造、片山太郎、川田末子、吉田厚、曾根豐三、小倉稀、村井新藏、梅本潤介、島田伊太郎、野田武吉、家達茂吉、五木?夫、大成[illegible]

濟州、吉田忠輔、磯部文子、近藤豐門、下川いそ同武一、中村善太郎、同山之助、櫻井半十郎、和田尹、同はるみ、同和子、右近又雄、服部正眞、關谷和三郎、近藤時司、同ふじ、清水八十八、平代木貞咲、池川信俊、今井ぐか、同ちふ、同元雄、上田きよ[illegible]

岩次郎、島國康、仙田風、柴崎仙太郎、瀬戸きよ、米山三次郎、小林將七、網見伊用、同伊忠、秋坂ひでな、虎尾刊子、鍛冰幸作、同きわ、長谷川藤輔、小野清藤、同みよ、同正、同ミし、土田りよ、塚本龜之助、中根[illegible]

●絶望的死地より救助せられて（一）

―恐ろしい大洪水だ― ―絶叫する隙もなく―

林 漣川郵便局長遭難談

京元線漣川郵便局長林久敬氏一家が十二日午前三時頃東漣川洪水中に家諸共に押流され流れ臨り居たる漣川驛保線巡視に發見せられ九死に一生を得たる遭難者夫婦の實話左に記載すべし

私は平素閑靜の生活を愛します處から郵便局から少し離れて居りますが東漣川と今度大氾濫した無名河との中間の地に借家して居ました家は日本建平家藁葺で頑丈のそして

□□住心地の好い家□□

でした私は毎日其處から車灘川に架けた土橋を渡つて局に出勤して居ました時々車灘川の增水した事もありましたが土橋が流れるやうな事は曾て有ませんでしたよし又土橋は流れても其の直ぐ上流に礫石取りの爲め漣川驛から私の住んで居る家の背後まで鐵道線路が引込んでありまして其の線路の橋は高くもあり又堅固でありますから私は雨の降る日にも安心して郵便局に通勤して居りました、家の在る處は川と川との間ではありましたが土地が高く昔から一度も流れた事の無い處だと申しますから私共は其の生活を水の爲めに脅かされやうなどとは

□□想像した事さへ□□

無かつた位であります、私の家族は七十才になる父の寛治も三十二才の妻ゆき十七才の長女ゆき七才の長男鍵一郎五才の次男保の六人暮であります私は三十八才ですそれから妻のゆきは目下姙娠五箇月であります私共一家は滿ち足りて流の間に心に見て悦びに充たされた樂しい日を送つて居りました十一日は午後から豪雨であり(?)ましたから私が郵便局から歸つて參りますと皆ンなして樂しく

□□一家團欒して□□

晩食を濟まして寢に就きましたが、さまざまの物語なども致しましたが父も私も妻も豪雨の爲めに洪水になりはせぬかとか『水害』とかいふ懸念は少しも持たず誰もまた水の事などに氣も付かずにそんな話もせずたゞ外に降る烈しい夕立に付いてはこれから涼しくなるであらうと雨に對して居たばかりでした。それから九時頃子供、父、私、妻といふ順序に寢に就きました、それから私が豪雨の爲めに目の覺めたのは午前二時半頃でした非常な大雨に風さへ少し加はつてザアーと云ふ音を立てゝ窓の障子に吹き付けますから私は起きて窓に蔽などを打付けましたが此の時私は何にか知ら怖ろしい力に壓迫されて居るやうな氣がしてどうしても床の中に這つて眠れそうにありませんでした。たから其の儘起きで居て臺の内、手慰みにして居ました紙縒を拵へて居りました、何んとなしに淋しい

□□侘しい心持ちに□□

夜の明けるのを待つて居りました、雨が瀧のやうに降り注ぐ凄さまじい音の中から底力の籠つた河音がゴウ〳〵と聞えますから私は何んとなく氣に懸つて灯をあげて庭を見ますと門の處から黒濁りの水がムク〳〵と流れ込んで居ります私は急いで父を起しこ水が庭に這入るやうですと申しますと父はすぐ起き上つて門の處を眼から見ると云ふのでした父は七十才ですが平素から却々元氣が好いのですから私と一緒に鍬を持つて門の處へ三尺ばかり土を盛つて一時水を防ぎましたが此の時雨は小止みになりました、フト私は私共の前方を四尺ばかりの高さに

□□盛り上つた水が□□

大聲を立てゝ押寄せて來るのを見ました私が『オ、大洪水だ』と叫びました時水は既に私共が今積み上げた土も門も一緒に打倒して私共の脚の邊まで浸しました

●十七日の壽座 本紙讀者は半額

壽座の喜劇海老一得意の物語題は海老一鐵五郎一座は初日開場以來近來に無き好評にて毎夜大入滿員を續け居れるさま京城興行界にかける本年のレコードを作りたるが、同一座は十八日を以て京城打揚げ後は仁川にて三日間開演しそれより一旦歸京し東京明治座に開演すべく當地における初御見得成功御禮として十七、十八日の兩日間京城日報讀者に限り入場料半額とするに決したるが今十七日夜の出し物は初め山姥、二番目御喜劇お釋迦樣、三番目新派喜劇勇の響、大切三人滑稽曲藝等にして何れも一座得意のもののみを選みたり

讀者文藝（每週一回掲載）

△下句付『出來ぬとは』

○出來ぬとは男に入らぬ言葉なり　京城 あづま（一席）

▲見らない若いかなつのまり　京城 九𩿎生

▲頑張つて見たがすにけ負け　京城 春海和尚

▲云ひ負へしたが氣にかゝり　京城 正本

運動界

◎滿洲庭球遠征團より 十五日於大連 泉 政次郎

▲滿洲初回戰記

朝鮮側の奮鬪振り

菊田役員は世話役として來たのだが國の都合上止むを得ず出場したるに拘はらずヨクテイつたのは昔取つた杵柄と苦笑せしめた熊丸組の後衛は拙の捉れ來た球は逃さねども強球、猛砲、ロツピングが共に宜しく立見又サオーレーよく、何の苦もなく惜退。松本の中ロツピング誠に正確、何とも手が出來ない戸井組は過日の滿洲大會に優勝せる矢野の苦心奮鬪效なく敗らる。大將組愈然起つて奏せず零敗したるは無殘なりき。菊田のロツピングも猛砲も効なく熊丸の強球敵を苦しめ時にバツクは人の惡効なし鮮軍漸く氣つき稍々止めを刺すは此組の鬪ふる處、鮮軍苦戰したる處アウトボールかと思はれしものがインとせられるなど鮮軍に不利なること多く遂に破れたかと思はれしがチツトスルはミツスとせられ時に日暮れコート暗く熊丸との試合中に於いて戸井より中止を申し出でたるほどなれば最早殘りの一組との決勝不可能なれば協議の結果ドローン滿洲軍は現れる一組だけの決戰を十五日に行はんとの申込みありしがかゝることはルールに反することでもありされはとてルールに從ひ始めより試合やり直はしとせば日程に大影響するにより此秋に再會を期して物別れとなり午前十時大連發擂臺に向ふ、唯今瓦房店にて晝食時に午後一時。小生は湯崗起床、沙河口工場を見學したり。

十五日午後一時於

朝鮮軍はコンクリートコートに不馴、殊に周圍狹隘の感あり不利の地位にあり。各自必勝を期して起つ愈々午後三時より始まる。泉組猛烈につき捲くり過ぎ二ゲームを奪はれたが後衛泉子り若泉赤留り出し續け樣に二ゲームを取り返し茲に雨軍緊張したりしが泉は前衛をぬき後衛なつき若泉のスコツシングと共にコンクにて勝れり。

川上は豪のものにてありしが遂に之を破り茲に優遇し鮮軍意氣漲る

朝鮮側		滿洲側	
○泉	若泉 三	二 國分	中山●
◎泉	若泉 三	二 川上	森井●
●菊田	永野 〇	三 寺師	中井○
○熊丸	立見 三	一 寺師	中根●
◎熊丸	立見 三	〇 安宕	中比●
○松本	島 三	一 本田	由比●
◎松本	島 三	二 笠原	高橋●
●矢野	中川 一	三 戸井	伊達◎
◎河井	川田 三	二 戸井	伊達○
●宮川	米田 二	三 戸井	伊達○
●泉	若泉 二	三 戸井	伊達○
●熊丸	立見 二	三 戸井	伊達○
○松本	島 一	三 戸井	伊達◎

▲正誤 前號朝刊運動界庭球遠征團より船津は泉政次郎氏より寄したるものにあらざる故茲に正誤す

(一)課題(及び)募集規定

△俳句 同十七日 同十八日 同十九日 [illegible]

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲期日[illegible]一週間以內▲課題の發表毎に用紙を[illegible]

天氣 晴れ時々曇り（十七日午後六時迄）八月十八日 [illegible]

商況

債券現物特電（十六日出來値）

銘柄	値
東京五分利	八〇.〇〇
甲號五分	九五.〇〇
四分利	八九.〇〇
朝鮮銀行	一〇〇.〇〇
南滿鐵道	一四七.五〇

東京公債直取引

深川在米特電（十六日出來値）

東京期米特電

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●綿糸布下支へ 米棉一圓五十錢高 三品は前日の大立落後支はれて稍々下げ足を入れたるもの如く今先限四白一圓九十錢前場は先限三百九十九圓九十五錢電報來着なりしが現物及綿布は

●大連大豆新高値 十六日大連取引所に於ける大豆は前日に引續き騰貴し且つ銀高のため更に空前の高値を生むに到れるが現物は金七圓四十七錢二十七錢十一月限六圓三十五錢十二月限五圓九十二錢となる

●石油値上げ 機械油は需要益々激增し加ふるに原油の騰貴材料高等諸の材料は本品價格の昂騰を促がすべきものゝみにて既に記錄の高値を現出せしに拘らず最近會社側に於ては又々外油の一圓七十錢高に次で內地油一圓五十錢の値上げ實行となれり其結果內地油マシン油十一八圓九十錢外新値に上れり尙內地相場に比し割安にもあり近く內地油にて十圓を突破せんとする近來諸油に比し割安なりといふ又近來諸油に比し

●白絞油暴騰 京阪の菜種油は需要に迫られて昨今白絞油漸次騰貴し此處市中値十九圓唱へさなり前段は五十錢方昂騰したり本品高値の影響として自然之が代用に比較的低廉なる

●豆油の需要增加の傾向 あるが品薄の際とて午後の相場上向き歩調に移るべく兎も角今日にては十六圓內外を持合ひ居れり

●洋服地一齊高 毛織物洋服地類は一般物高の相場を續けて今なは引續き彈騰しつゝあり羊毛禁輸と舶來品の杜絶に遭遇し例年一萬圓內

●甲革二口約六十枚 皮革會社及び其他計數不明の分を合すれば可なりの額に達し且某社扱ひ浦鹽に於て拒絶積返した品二千枚

●直接の影響 を與ふる事となり今日迄の地方的に伺ひし如何なる成行きなるやは前途暗黑なるも彼の地の事情より推して云へば當分は需要の減退は免かれざるべきも商人の遲延は商況の急に成立せむやも料られず

●燐寸引締まる 燐寸は最近に至り漸く入荷ありしが旣報原料高と運賃高の影響にて市中相場引締まり目下の實際取引は四十二圓乃至二圓五十錢なるが一般

四圓內外 唱値は四十錢を要し現在の大阪相場四十一圓五十錢方を保ちし居れば限先餘々上向歩調なり

●安全 連れて目下四十一圓內外 市中賣行きは歩々しからず賣捌も當分は品不足の憂なきが如し

●仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話長三六七・三六九 電略（サ）又（ナマサ）

●對露輸出の甲革 皮革界は露國與戀のため鈍物を呈し只管其成行きを傍觀しつゝあるが何等の快報なきため目下交涉中のもの

●三錢方の値上 原鹽再製鹽ともに

●七百萬斤に達す 仁川貯藏高約

●原鹽の荷動き活潑

●推積も約一千萬斤に達す

●鹽活氣づく

●米油十錢値上 燈油も十錢英米油の

●番茶益々拂底

●精肉下落る

●三巳仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話一二二・一二三・一四二 長距離京城四〇二

京城正米

南大門の廻穀

品名	値	品名	値
郭山大麥	二五三臥	郭川稗	二七臥
平澤小麥	五九臥	平澤稗	二二臥
平澤白米	四一臥	新義小麥	二六臥
平壤玄米	八一臥	新義小麥	二五臥
新義小麥	二六臥	全義裏麥	二一臥
新義州小豆	四五〇臥	平澤小麥	九臥
群山白米	一三〇臥	平澤白米	一四臥
東萊裸麥	三〇〇臥	平澤小麥	六〇臥
全義白米	五七臥	平澤白米	二七臥

釜山穀物（十六日）

▲正米（保合）本邦大阪定期米は一昂既に小往來保合の商狀本朝寄入電は變らず先八十九錢との小甘き報あり今市場賣り物は至極減少せり買望人依然として精米補充口よりの買望みに外ならず移出口の如きは昨今更に手を染めず市場は引續き閑散との

●仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三六・七番・三八番

生魚市場

商狀目立ちたる商內行はれず総じて相場は保合なり 入荷は僅少 總出來高七二 玄六四〇、小麥七二

日の丸市場建値左の如し たい三〇、さわら一〇、すしき二五、ぶり一七、やす一〇、かれい一六、あじ二〇、いせえび二〇、くろさわび五〇、めばる二二、にべ七、たこ一八、こ〇しろ一八、きだみ一五、小たい二〇、さこし一〇、ます二二、あさり二七、かれ六、小もの七

▲釜山水產市場(十六日)▲入船數一百七十隻

仁川米豆取引所 十七日の十月限

寄付	十九圓八十八錢
止め値	十九圓四十九錢
高値	十九圓五十一錢
安値	十九圓四十錢
出來高	八萬六千四百石

平均値段

節	値
一節	十九圓四十四錢
二節	十九圓四十四錢
三節	十九圓四十五錢
四節	十九圓四十四錢
五節	十九圓四十七錢

賣買取組高

限月	高
八月限	一萬四千六百石
九月限	二萬四千二百石
十月限	一萬九千八百石
十六日後場	一九、三 一九、四 一九、五

前日と比較 一五〇七高

下關相場

▲朝鮮白米は手堅し 既報の如く割高を嫌ひ兎角賣氣進ますして市況不引立なるも其後出廻りを見ずして在米も又左程多からぬに加はへ產地もなかなか強氣なるに加へ各手依然安からずして不引合なる傍各手持の気張り居るも漸次出廻り筋は見ずして目下北海產の如きは賣り物ふ缺乏の爲め引合ひ相場も何ぞ好轉の見込▲小豆は不引立 本品は近來出廻りを見ず唯だ後に輸入ありしが前記叉り値十五百四十九臥等の二百九臥同叉り定物にして賣り物としての出廻り先約稀少なると目下在荷は折柄產地も依然安からずして不引合なる旁各手持筋の氣張り居りしも何分價氣强硬を極め居れり然れども相變らずして殊に頃より十一て除り高値は賣進み兼たるものゝ如し而して元山物五百臥許りは並上品十四圓二十錢より叉りの上十四圓丁度に安東縣物交り三百卅臥は十三圓五錢等に手合ひ行れ一寸弛み目ありたるものゝ如し

白米標準値

二十三圓四十錢

小賣白米

現金一等白米 二十四錢
次白米 二十三錢五厘

仁川期米

▲十七日前場（持合）四十八錢と一錢高にて十九圓寄付に新規に買物と相場と押目は又買物多く七錢と四十六錢引けは引值七十錢と八十錢上伸し七十五錢より七十五錢寄付にて八錢と上伸したる結果相場と押したれば十二圓五十六錢方と大阪五節二節六十一錢と五十錢と上伸し再び五十錢と仲し高多くの取り引きに二錢と四十八錢と依然大激戰の裡に打止めり
▲たい十六圓▲大ふか四圓▲小ふか三圓▲あぼす三圓▲ひらめ八圓さはら十圓▲ふぐ二十圓▲いせえび十二圓▲めばる八圓▲ぶり十五圓▲はも七圓▲のぼり三圓二圓▲雜魚六圓▲たら▲合計一千一百七十一圓四十五錢

●三仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 西川季治郎 電話一五八・長距離一五九・電略モ二一一〇番

十七日前場

	寄付	高値	安値	止値	出來高
八月限	十九圓八十八錢				千九百五十石
中限	十九圓八十錢				二千五百五十石
先限	十九圓四十錢				七千九百五十石

●日本で出來る藥
外國へ續々輸出される好景況 藥材の値段はグン／＼騰がる

此の頃吾々が服用してゐる洋藥といふやつは大抵代用品である

◆戰前迄 一磅八九圓位のピラミドンや同じく五七圓どころのアンチピリンやヘナセチンの類が四十五圓乃至五十八圓に暴騰した、そこで一磅一圓四十錢のアンチヘブリン、二圓八十錢のサルチルサンナトリユーム、五圓五十錢級のアスピチン搭の安物を代用する但副作用の起る位は我慢するのだ譯が何といつても是が昨今の醫界に共通する事實である夫も一流の病院ならば

◆高價藥 代は別途に請求もするけれど二三流處では患者が可愛いから安く／＼と持掛る一寸最もな話である梅毒の妙藥六〇六（サルバルサン）は製造元の獨逸が日本を見縊つてか戰前我邦の特許を得て居なかつたそこで我邦では三共株式會社がアルサミノール、慶松博士がアーセミン、丹波博士がタンバルサン外にエーラミゾールなど特許名こそ異にすれ砒素含量の一定した意味に於て六〇六と同一の

◆藥劑が 盛んに製造されて居り近頃猛烈に露國輸出を試みて居る國産奬勵の聲高き今日効力を是非する必要はないけれどそれが皮膚科學會の問題になつてる丈は事實であるさて斯の如く輸入杜絶の憂目を見た藥品の補充は國民衛生上の重大問題であると云つて政府は内國及び

◆東洋の 製藥會社に補助金を交付して製藥を奬勵し内國製藥ではアンチピリン、ピラミドン、ザロール、アンチヘブリン、ヘナセチン、アスピチン、サリチルサン水銀、次サリチルサン蒼鉛、ナトリユーム、ジユーレン、クレゾール、石鹼液、ミクレニン石炭酸（防疫用及び局法）アニリン其他東洋製藥ではフォルマリンクレオソート其他右の外新潟には寶田石油に附屬する硫酸製造會社が二つあり綠苗代には製劑を製造する日本化學工業會社があり更に三共株式會社がサリチルサン、サントニネーを製造し其他大小の製藥會社を合計すれば全國

◆數百の 多きに上るであらう而してアスピリン、ジユーレチン、ヘブリンは原料高貴にして小資本の手に支へ切れず大半は失敗して居りピラミドンの如き市價も貰い代りに莫大なる製造費を要し到底收支を償ふ事が出來ない結果保護會社たる内國でさへ申譯許りに一ヶ月僅に一磅を作つて居るに過ぎない

◆是等は 何れも我邦に於ける新しき試みであるがピラミドンが内地に於て作り出された事は製藥界の奇蹟とさへ傳へられて居る又三共が一手に製造しつゝあるサリチルサンは日本酒の防腐劑として盛況なる需要を有し一箇年四十萬磅を消費して居るが今や同會社の能力は百磅を製造して米國其他に輸出するに至つた是等の

◆藥品中 には到底我邦の需要の十分の三を充たすに過ないものもあるけれど海外の註文も亦夥しき急を告げつゝある結果海外輸出額も決して尠くない

●鯛も喰はれぬ
―不漁期の仁川― ―ニベの漁期來る―

仁川近海の漁業況を聞くに七月中は仁川港を中心として二百七十餘隻の從漁船ありたるもヒラ鯛の不漁にて大いに失望し本月に入りてより大連及び鎮南浦方面に移稼する者ありたり尚ほ本月初旬より例年の如く鯛の不漁期に入りたるを以て昨今水揚高極めて尠く相場の如きも十貫匁二十五圓乃至三十圓迄を上下し七月の平均相場に比し常に七八圓高を示しつゝ有りとニベは本月初旬より新漁期に入り十八日の大潮頃より盛漁ある豫想なるが漁場は重に德積島方面なり因に鯛は初秋即ち八月末より九月十月に渉り相當の漁獲ある可しと

嶄新なる家族的清遊！
往汽車 復電車 廻遊觀月會

金風吹き初めて一碧の秋空に月皓き秋初十五夜。來る九月一日（土曜日）の夜、我京城日報、毎日申報兩社主催を以て、嶄新奇拔なる計畫、臨時特發の廻遊觀月列車を運轉す。車内には酒保あり置酒歡語の裡に

△冠嶽山上の月 △月坡亭の月色
△漢江々上の月 △西氷庫岸の月
△纛島平原の月 △清凉里の月色

を耽賞し。猶ほ城東の勝地清凉里を觀月會場に充て。其所には相當の設備を施し大日本ビヤーホールを始め蕎麥、壽司、お汁粉等の賣店を設け。餘興として

◎郊外活動寫眞 ◎洋樂隊演奏

等あり。松籟惡々！蟲聲唧々！一夜の清遊能く一年の壽を延ばす可く。猶本會の計畫規定は◆九月一日（土曜日）晩餐後午後七時四十分迄に南大門驛集合◆同五十分より乘車正八時發車◆同四十五分清凉里著◆同十時より電車にて任意歸途に就く◆會費は一人三十五錢滿十四歲以下は二十錢◆會員は老若男女何等制限。なし

奇拔なる廻遊的觀月！

◎慈善救濟會寄附 京城佛教各宗慈善救濟會にて行旅病者收容所を經營する事となりたるは既報の如くなるが該收容所は今後益々活躍して能ふ限り多くの不幸なる行旅病者の收容を爲す目的にて其の基金として慈善家の寄附を悦びて受くる由なるが既に佛事法要の經費を節約し該收容所に寄附の申出を爲せし人々は

佐田宗一佐田善兵衛氏は右亡母嚴中陰に際し忌明返禮を廢して金廿圓を寄附し又右井英男は亡先の佛事に付香奠返しの代りに金十圓を丸家内藤奴藤枝は櫻島遊廓の際自分が鹿兒島市千石街本願寺別院に避難し救護を受けし時を思ひ報恩として金三圓本村源太郎は始め朝鮮に住を移して金三圓を寄附し又三圓を中家寄附し又本人が社會救濟の爲め率先業附番せし者を寄贈し兼以て本人手業の志に副ふ金十五圓を長野唯六は惡疫院の主任警士也無月給の三分の一を割て寄附せらるゝ五月中旬より七月末に到る寄附金額二十三圓三十三錢を鈴木喜太郎は當年十八歲にして病身中の葬列等虛禮を廢して金五十錢を何れも寄附せり

●李會演藝會盛況 新券番の藝妓連中が夏に花柳芳之輔、六代目新十郎の兩名を招いて藝道を勵む事になつた記念として生れたといふ李花會は愈々十六日午後七時から有樂館に蓋を開けた、何分開會前の八方への運動が充分行屆いてゐた事とて滿員に近い大入りは大したものといふべく師匠の芳之輔、新十郎の後見で最初の花筐から松島、靱猿、鞍馬山三番叟吉原雀芳之輔の外記猿、新十郎の大皷等いづれも喝采を博せり

◆支那の奇談◆

聞邦支那の事、現下過渡期に際して色々なる事變が生ずるにつけ天變地異が相次で起るのは妙な譯であるが此の間も支那各地の天變地異に關する風說やら流言やらを一と纏めにして報じたが近著の支那新聞を見ると相變らず奇想天外的の珍聞がある、曰く

◇◆月圓かなること三夜◆◇

とあつて、是は江蘇省の通信であるが、舊暦十六日の夜から十八日まで月が少しも缺けずに十九日の夜に至つて初めて缺けたとある、是れ恐らく此の間の天に二月輪が現はれたのと同じく大氣中に水蒸氣か濃密であつた結果であらうと思ふ、次は

◇◆白い虹が太陽を貫く◆◇

と云ふので之も江蘇省の出來事で、曰く『月の五日午後二時、雖際省台院莊揚の農民』が仰ぎ見た上を仰ぐと、天に二道の白氣有りて、一は南より北に、一は西より東に十字を描いて白い虹が現はれたのである、說明は省くが土地の學者は村民に說いて曰く、昔より白虹日を貫くは國家に大異變のある兆であると、是は村夫子の說明を俟たず成程支那に大異變のあることはお互ひに判り切つてゐる事であるが、偶々本年の如き多雨の歲に水蒸氣のする惡戯で飛んだ人騷がせをするものだ是れもお互ひに可笑しく思ふ所である

◆今植ゑ付ける草花
花の珍しいツコトラナ

ツコトラナはべコニヤの一種です。一般にベコニヤは

回葉が 美くしいものですが、殊にツコトラナは、まん丸で非常に面白くて珍らしいものです。花は桃色の十字形花が房となつて咲きます。此種の特徴とする所は球根である事です。ですから他のベゴニヤの樣に、花のない時鉢に植ゑて置く、必要はなし、運搬にも便ですから ツコトラナと云へば、特別に取扱はれて居ます

回植付 ける時期は七月末から八月即ち此頃が一番宜しい。先づ腐葉土と肥た土へ、油粕、馬糞などを混じ、水捌をよくする爲に砂を促ぜた培養土を造り、口徑二寸位の小さい鉢に一球づゝ植込んで、溫室かフレームに入れて雨に合はせない樣にするのです。水をあまり澤山やると腐敗しますから、小さな如露で少しづゝやるのです。

回發芽 して追々成長し葉の大さが直徑七八分になつた時、口徑三寸位の鉢に植え替へ、葉に水をかけない樣に水の分量も少しかけ乾さない樣にするのです。葉の直徑が一寸五分位になつたなら四寸の鉢に植ゑかへ追々暑くなつて來ますから、寒さにあてない樣に注意し何時でも七十度位の溫度を保たして置くのです。此樣お世話をして置けば、十二月から一月にかけて、美しい花を見る事が出來ます。

回花が 終つてしまつたなら追々水を少なくし、遂には少しもやらないで乾かし、それより十日ばかりたつてから、堀り出して砂と、子芽とを區別し、よく乾いた砂の中に入れて、貯へ付けるまで貯へて置くのです。

●書畫研究會開會 暑氣の爲め停會中なりし長谷川町書畫研究會にては十八日より開會の由

●俚謠正調根無し會（第二回例會）▲八月十八日（土曜日）午後七時より▲本町四丁目第一銀行社宅中村宅にて開催▲同好者何人にても出席隨意▲會費廿錢當日持參の事▲席上吟可有之

○曹谿寺（大和町三）十七日午後七時より當門會講話會に說教供養あり

―渚の砂―

■爆藥で自殺 福岡縣早良郡姪濱炭坑夫廣島縣生れの角井吾助（四二）は肺病を悲觀し十二日夜同炭の橫坑で爆藥自殺を遂げた

■惡虫の研究 帝大醫科の醫學博士長與又郎氏は三年來惡虫の病源研究に腐心の末去る十一日東京醫學界會の席上で其の結果を發表した

■馬に壓されて 鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村塔之内長次郞（四九）は九日馬に大豆を負はせて村の坂道を通行中誤つて馬が倒れ荷の下敷きとなつて壓死を遂げた

■花嫁足を折る 長野縣松本市源地小林よし子（二二）は高等女學校卒業後電話交換手を勤め八月七日木曾郡原野驛前の上條泰利に嫁し其の式後間もなく汽車線路に飛び込んで自殺を企て足を折つたが死なない原因は何かの申譯らしいと

■不倫男の自殺 長野縣更科郡塩崎村田中七兵衛（二七）は兄德次郞（四七）の妻たけ（三八）と關係してそれを發見されたので兄夫妻を殺しかけたが果さず山に逃げ込んで絕食し十日夜稻荷山驛附近の隧道の中で鐵道自殺を遂げた

■嫉妬から血煙 廣島縣安藝郡大屋村に滯在してゐる中野うめ（三〇）は九日夜東京生れの先夫加藤辰雄（五〇）から庖込みを襲はれ左の腕を突き刺された原因は嫉妬

■未練の庖丁騷ぎ 愛媛縣北宇和郡の消家後堆（三二）は橫濱居住中前科四犯あること等が知れ横濱市西戶部町の鈴木まち（二一）から離緣を申込まれまちは群馬縣生れの岸源兵衛（二七）と同棲することゝなつたので嫉妬の餘り十二日夜庖丁を以て先妻まちを

■恐ろしい遊客 愛知縣幡豆郡西尾町市石與三郞（四一）は岡崎市板廠遊廓長谷川樓の娼妓仙石せい（二五）と深く言ひ交はし落籍の相談も出來たがせいは別の嫖客から落籍されるといふ噂を聞いて十一日夜せいを格子先で絞め殺した

法人設立登記公告

地方金融組合登記

名稱 鳥山地方金融組合 主ナル事務所 京畿道水原郡城湖面鳥山里四百武拾九番地 目的 一、組合員ニ農事上必要ナル資金ヲ貸付スル事 二、組合員ノ爲ニ預金ヲ爲スコト 三、組合員ノ爲ニ種子種苗肥料農具其他農業上必要ナル材料ヲ購入シ又ハ分配スルコト 四、組合員ニ農具其他農業上必要ナル材料ヲ貸付スル事 五、組合員ノ委託ニヨリ其ノ生產物ヲ販賣スル事 六、組合員ノ爲ニ其ノ生產物ヲ倉庫ニ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト 七、組合員共同ノ利益ノ爲ニ農事上ノ施設ヲ爲スコト 八、地方金融調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令ニ依リタル業務ヲ營ムコト 九、組合加入ノ豫約ヲ爲シタル者ノ爲メ出資一口ノ金額ニ達スル迄組合員ニ非ル者ノ預リ金ヲ爲スコト 一〇、農工銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其ノ業務ノ媒介ヲ爲ス事 業務區域 京畿道水原郡東灘面、城湖面、正南面、驛南面、長安面、雨汀面、揚甘面、龍仁郡南四面、振威郡北面、西炭面 設立許可年月日 大正六年七月貳拾五日 出資總口數及拂込ミタル出資ノ總額 百九拾八口 壹百九拾八圓也 出資拂込ノ方法 第一回拂込金額一口壹圓 第二回以後ノ拂込金額日時及方法ハ剩餘金ノ配當ヲ以テ拂込ニ充ツル場合ヲ除ク外評議員會ノ議決ニ依リ定ム 組合長理事監事ノ氏名住所 京畿道水原郡城湖面烏山里參百貳拾番地 組合長 金喆鉉 同上四百武拾九番地 理事 野村騰三郎 同上參百拾六番地 監事 李明三 京畿道振威郡西炭面寺里七百六拾壹番地 府尹箕善 同道龍仁郡南四面通三里武百參拾五番地 同 具永會

右大正六年八月拾壹日登記ス

京城地方法院水原支廳

上野ヒナ同情金處分廣告

一金百拾武圓六拾七錢 但し募集高
内 金拾圓武拾五錢 印刷及切手
金六拾四圓廿五錢 前借金支拂
金參拾八圓拾七錢 本人手渡し

右の通り處分致候間此段及公告候也
猶本人は去る八日沃川出發歸國仕候

大正六年八月十五日

發企人 大前龍一 小林索治

今般大阪府教育視察團來京に付左記の通り歡迎會相催候間同府人並に大阪府に緣故を有する諸君は御賛成の上御來會相成度候

時日 八月十八日午後七時
會場 京城ホテル
會費 金貳圓當日持參の事
申込所 本町二丁目池田長兵衛 南山町京城ホテル

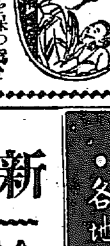
京城 大阪府人會

園藝種苗錄 御申込次第無代進呈
橫濱市中村町廿一 橫濱植木株式會社 內國部

外務員採用
外交に經驗ある者、其他に於て爲し得る業務、月收五拾圓以上其他特別手當あり希望者は履歷書を本社債券部募集課長宛送れ
本社 東京市日本橋區本石町三丁目
資本金五拾萬圓
日本勸業信託株式會社

職業!!職業之れ實に吾人に取ては一生の運命を支配する當面の大問題也一度其選擇を誤らば後日噬臍の悔あらん刮目せよ本校は
自動車運轉手
及修製作技師を養成す此文明的快職業は需要無限前途益々有望にして月收六七十圓多きは百圓以上に達し外國にては二百五[illegible]
東京市私立 京橋區認可 自動車學校

◆アセモ、タダレの豫防治癒
夏季特に小兒を苦しめるものはアセモ、タダレであります之に對する手當としては近年兒科病院及産婆間に常用せられつゝある特効藥
シッカロール
を用ひるのが最も適當であります
シッカロールはアセモ、タダレの豫防治癒を主眼とせる藥品なれど切傷、擦過傷等に用ひ皮膚の殺菌、成形、同復の効を奏しますし、皮膚の健全と美觀を保つ爲めには小兒に限らず何人にも應用すべきものであります
上記の諸品は何れの地でも有名の藥店食料品店で販賣して居ります
詳細の說明書は和光堂で進呈します
和光堂 本店 東京神田錦町 支店 大阪横堀三丁目



◆乳兒胃腸病の營養療法
乳兒が胃腸障碍を起した場合藥物療法は副作用の危險が伴ひ殊に乳兒は極度の衰弱を招く恐れがあります最近科學の研究によりて營養療法即ち食餌療法が最も安全最も有効なることが明かになりました其營養療法に第一の材料が
下痢止營養品 ガラクトサン
であります……ガラクトサンは乳兒が下痢を起した場合牛乳に混和して與ふる時は速かに腸壁を回復し下痢症狀を治癒し且乳成分を消化し易く調節し營養を攝取をなさしめるものであります
第二の材料は
便秘特効滋養品 マルツ汁エキス
であります……マルツ汁エキスは主として小兒便秘の場合に應用すべき滋養品で牛乳に混じて與へ且牛乳成分を補足して滋養價值を與ふるものであります。
以上の二者は共に藥物にあらず滋養品にして特に下痢若しくは便秘に特種の効用を有すべく作られて居る點に於て眞に理想的價値を認むべきであります。

◎夏季に於ける 乳兒の哺育
乳兒の骨格、筋肉、血液、神經等の組織の各部を完全に發育せしめる爲めには是等に要する各要素を完全に含有する食餌を與へる事が必要であります特に夏季母乳に種々故障を生じたる場合の如き不完全且つ粗惡なる食餌は絕對に避けねばなりません此要求を充たすべく最近發明せられた營養品が
母乳代用完全哺育料
キノミール
であります
キノミールは成分構成上必要なる諸營養素を含み消化し易き狀態に包含せるもので乳兒營養品中の第一と稱せらるゝ哺育品で見科諸大家の推賞せらるゝ品であります

新築移轉
今般左記の處に移轉從前の通り診療に從事仕候
京城明治町一丁目九番地（佛蘭西教會堂下）
贊化病院
電話 二四番

誠實なる製品、之れ安全第一
帝國醫科大學病院 大阪醫科大學病院 日本赤十字社病院 陸海軍各病院 各府縣立病院 官公私立病院 御採用品
消化新藥 柏木ヂアスターゼ
本品は消化力卓絕にして品質第一なるは世既に定評あり今や國手の絕對的信用を受け不消化に基く胃腸病病後の回復期等に常に本品を處方せらる
・各地の藥店に販賣す

地方外交員至急募集
●月收百圓以上確實
規定書入用の方は返信料三錢封入申込まるべし
東京市神田區猿樂町一丁目二番地 アンビル製藥所

皮革
精米研磨革 綴革 動力帶革 靴原料 青象本底
釜山大廳町一丁目 三星商會 電話長七八〇番
▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

◎耐火煉瓦
平壤合資會社京谷商店製造耐火煉瓦
右販賣代理引受候間多少に不拘御注文願上候
京城旭町一丁目（電話九五五番）
白上商店

カーバイト アルコール 燒酎 硫酸（藥用）
釜山辨天町 福榮商會 電話長三三九 二一三 振替京城一二九

謹告
和田商會經營中は多大の御引立を蒙り難有奉謝候陳者今般日本ウールエ業株式會社朝鮮支店代表者に就任仕候間倍舊御眷顧の程奉願上候
朝鮮永登浦 電話一六番 和田欣次

明君道中記

第二百三十八席　田邊南龍口演

土井大炊頭利勝が此度の係りで生駒家は改易となり、帶刀は蟄居江戸家老石崎若狹前野治右衛門は切腹となつて其の他はそれ〲御處置となりました、此の事を生駒帶刀が長七郎へ申し上げ生駒家再興の儀を願つたのでございます、長七郎涙を流して帶刀の忠義を感み「長『其方の願ひ是もなれど予は天下の浮浪人政治に口出しは出來ん、然し是より紀州和歌山へ立歸つて伯父頼宣へ申聞け三分一なり四分一なり生駒家再興の儀を計ふて遣はすから安堵いたせ」此の仰せを承はつて帶刀は頭を疊へつけて御禮を申上げる、長七郎は丸龜を發足いたし和歌山城へ立歸つて大納言頼宣公へ此の事を話し、其の盡力を仰じて頼宣公も聞召して頼『生駒壹岐守はさして惡事を働いた譯ではなく只だ縁組のことに就いて公儀へ御届けをいたさぬは頗る落度、只是れにて家改易になつたることは誠に氣の毒の至り、且つ其方の願ひもあれば此の事に盡力いたすであらう』と仰せられて安藤帶刀三浦長門守等を召されて協議せられ、紀州大納言殿より將軍家光公は御他界となつた故四代將軍家綱公へ上書して生駒家再興のことを願ひました處、家綱公は諸役人を集めて御評議あらせられ、頼宣の願ひ空しくいたす譯にはならんとて生駒壹岐守高俊へ一萬石を給はりました、然し諸侯の列に加へることはならぬ旗下格と云ふのであつて、出羽國矢島に於て一萬石を下し置かれました、生駒家再興となつたのは皆松平長七郎長頼侯の慈愛による處でありまする、長七郎は和歌山に相變らず滯在をいたして居りましたる處、明の鄭芝龍より和歌山城へ書状が到來いたしました、其の書面を見ると援兵をいたし呉れといふ事である、此の鄭芝龍は肥前平戸に住んで居たる老一官といふ者の子で鄭成功といふ者、俗に國姓爺の和唐內といふ人物の國へ渡つて戰を開いた處何分援兵をしてくれいといふことであるが、頼宣公は勇猛のお方であるから人數を貸して遣はしたいが、御條法として其の事も出來ないから鐵砲五百挺火藥一萬斤を與へて加勢を斷はりました、長七郎は是を聞いて手前は天下の浮浪人何うならうとも差支は無いから手前を彼の地へ遣はしてくれと云ふので長七郎は宅兵衞宇平治を伴れ小舟に乘つて明國へ赴きましたが、小舟のことゆゑ海上で暇取りまする、其内に鄭成功は戰破れて臺灣國へ引揚げて切腹をしたといふことを聞いて長七郎は無念に思つたが據なく和歌山へ引返しましたが、誠に時の至らぬといふは仕方の無いものでございます、長七郎別に爲すこともなく逗留をして居りましたが、頼宣公より暇を給はつて三州長濱松平右衛門太夫政綱の許へ訪ねて參りました此政綱は松平伊豆守の父である自ら手に育てましたる長七郎久方ぶりに歸り來りました故政綱の喜びは一方ならず「政『最早手前も老衰をいたしたれば君には何方へもお出なく此の長濱にお止り下さる樣』長七郎も茲に足を止めて居りましたが、其內に大公儀より御沙汰となつて三州長濱にて十萬石格に御執立になりました、元高は僅かなれど十萬石格の大名道中をする時には二本道具金紋先箱でございまする、神津隼人正の娘深雪を室といたし、三宅宅兵衞田村宇平治等は家老に執立其の他三次を始めそれ〲家人に加へました、間もなく夫婦の仲に一男子出生いたし是を二代目松平長七郎長義と申して家督相續いたされました、長七郎は隱居して八十三歲の長壽を保つて三州長濱に於て終りました、誠に芽出度ことでございます明君道中記是を以て終りといたします

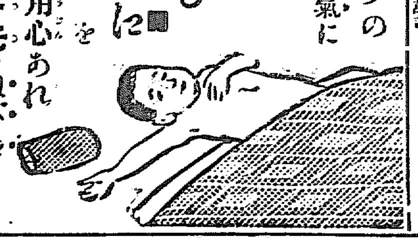
牛乳　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

九星

八月十九日　日曜　癸巳　舊七月二日

▲一白 ▲二黑 ▲三碧 大利の日 ▲四綠 ▲五黃 ▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫

朝夕の冷氣に
ねびえを



御用心あれ
コドモのねびえには
小兒解熱新藥 オインに限る
藥價 十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには
蛇印 アンチピリン丸を
スグ服用あれ確に効あり
價十錢 廿五錢 五十錢・全國各藥店に有り
本舖 大阪心齋橋 東京箔屋町 丹平商會藥房

富の道しるべ
山縣五十雄 村上唯吉共著
價十五錢 郵税二錢
京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇番

演藝案内

黃金館 電話二三六七・二三六六
八月十八日より引續き特別大興行
◉教訓芝居美談實錄原多助一代記（全五卷）
◉世界二大怪探偵活劇 怪な魔？人？第四讓る影
◉新派連鎖大悲劇 宮島心中（全十三幕）

壽座 京城壽町 電話五七八番
大好評中の一座愈十八日限り千秋樂
一番目 江戸生粋 ……
二番目 ……
三番目 ……
▲京城日報購讀者に限り半額

大正館 櫻井町 電話八七三
○新派悲劇『孝女白菊』（全五卷）
○新派喜劇『佐野鹿十郎』（全三卷）
○天下一品『中裝路』

浪花館 電話二六〇
△大阪親友派浪花節
原晴夢・竹川馬生・京山若國三合同
○今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（階上）五九七番（階下）二〇五番
▲八月十七日よりの特別大興行
△滑稽『戲の花束』
▼米國ユニヴァーサル會社作 大活劇『雲間の家』（全二卷）
○東京小林商會特作 新派教訓劇『呪の蛇』
●入情活劇『社會の罪』
○東京小林商會新派實錄『園七九郎兵衞』（全四卷）

皮膚病 花柳病 專門（注射 手術）
扇田醫院
京城太平通二丁目（電話二三五八番）
岡山醫學士 扇田豊

質 大口歡迎
田村質店
京城黃金町長橋町入 電話二九一六番
商品擔保便利取扱

模範的懷中藥
守田寶丹
暑い今
家庭に避暑に
油斷して惡疫に罹らぬ
是非携帶すべきは
是れさへあれば
夏の健康は安全第一
主効
○頭痛眩暈○氣附霍亂
○中暑水傷○下痢腹痛
○腹冷吐瀉○食傷醱酵
○過飲過食○惡疫豫防
○船車酒の醉○日射病其他
定價（金十錢金二十錢金三十錢以上は
優美なる寶丹匙を添ふ）
寶丹本舖 東京下谷池之端仲町 守田治兵衞
振替東京二九八五

起死回生 守田寶丹

桃谷研究試驗所の責任上
◆美顏化粧料の品位を保つため
◆婦人方はじめ男子方にも一言

桃谷研究試驗所は、醫學・藥學、理學の專門家が化粧品に就ての研究所であつて營業者でありません。
現今歐洲戰亂の餘波を受けて原料が非常に騰貴しましたが、桃谷研究試驗所の學者は、そんな事よりも、只管高貴品を用ひて美顏化粧料の良くなる事に力を盡してゐます。
美顏化粧料は元來品質の良いのが特色で、原料も最高品を用ひてゐるため、只さへ原料の價の騰貴した現今、更に研究試驗所の責任を保ち、學者の創製品としての品位を維持するには、勢ひ値段を上げるより外に途がありません。
由つて今回已むを得ず、次の如く値上を實行致しました。

美顏白粉　白色美顏水　美顏ユーマー　美顏洗粉（小）　美顏石鹼「月」以上何れも一個に付一錢宛値上
美顏白粉（大）　美顏石鹼「花」　美顏洗粉（大）以上何れも一個に付二錢宛値上

美顏化粧料發賣元　桃谷順天館

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソウ液
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる。全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢
二十錢 四十錢 壹月 一圓
清鮮卅錢 意標廿錢
東京神田和泉橋際 松本藥店

何事を捨てゝも
これを一杯
終日緊張した仕事のあとでは、到る處で斯ういふ言葉が言ひ交されます。夫も其害第一に味は美し飲めば飲むほど血は增すばかり肉は肥ゐるばかり
純生葡萄酒
赤玉ポートワイン
（類似品あり赤玉印に御注意）

■血色の惡い方 ■活氣の無い方 ■食慾の進まぬ方 ■直ぐ疲勞する方
■精力減退の方 ■熟睡できぬ方 ■病後の方 ■早起のできぬ方
キツト利目がある

赤玉ポートワイン 甘味葡萄酒 本店

汽車

(明治四十九年八月十九日第三種郵便物認可) 大正六年八月十八日 THE KEIJO NIPPO 第三千五百六十四號 (一)

京城日報

八月十八日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

第三版

[illegible] 仁川期米 [illegible]

▲我然且騰す [illegible] 六十三錢を [illegible] 十九圓六十五錢と上放

▲遂に上岐れ乎 [illegible]

▲仁川現物界 [illegible]

●新町遊廓の擴張 京城府 … 十七日の十月限 … にて告示の筈

京城日報 勞働者問題

最近、我帝國本土は、勞力缺乏を示すこと、日に月に著しきものあり。遂に朝鮮人を移入して、其需要を滿たさんとするに至る。我朝鮮は、今日にては勞力甚だ豊かなり。若し本土にて之を求むるあらば、相當の供給を爲すを得べく、朝鮮人亦、其成修訓練に依りて、其の能力を增進するあらば、相互に補益する所、甚だ大なるものあるべし。

世間多くは、我帝國本土を以て、過剩人口の處理に苦むものと爲すが如くなれども、是は大間違にて、本土は決して人口の多きに過ぐる處にあらず、且、其の農商工業は、現に長足の進歩を爲しつゝありて、是等産業の進歩に伴ふて、益々勞力の缺乏を感ぜざるべからず。獨逸は千八百七十年代、八十年代には、每年八十萬人以上の出稼人を外國に移出したれども、九十年代の末、商工業勃興以來、啻に多くの出稼人を出さゞるのみならず、外國勞働者數萬人を入れて、其需要を滿たすといふ狀態となれり。此に鑑みても、我本土は是れより、年々歳々、勞力の缺乏を感ずること甚しからざるべからずして、近年我朝鮮人を入るゝか、然らざれば支那人を招致するの外なしと論ずるもの多かりしが、今や試驗的に、我朝鮮人を使用することゝなれり。若し、其成績にして不良ならざれば、其需要は歳月と共に增加し來らざるべからず。

我帝國本土に勞力缺乏を告ぐるが如きは、從來我朝鮮及び支那に出で來れるものは、漸次歸還すべきか、本土人民は、最早本土以外に移出することなかるべきか、蓋し、然らざるなり。我本土は勞働者は不足なれども、多少の敎育あり、多少の智識技能あるものは則ち餘あり。此階級に屬する者にして、本土に其地位職業を得る能はざりし時は、則ち海外に出で、其處を得むとす。彼等の中には、已を得ずして勞働者となるもあるべしと雖も、其素質は、則ち勞働階級のものと甚だ相異なるを以て、單純なる勞働者たるを以て、自ら滿足せずして營求進取甚だ力むるの情あり。彼等が失敗を招くもこれが爲めなると同時に、其成功者を出すことあるも亦、これが爲めなり。而して我本土の社會狀態を見るときは、今後、此種の階級に屬するもの、益々多かるべく、此等の赴く所は、我朝鮮、支那、南洋諸地たるべく、殊に後日は東西伯利亞等にも入り込むべく、太平洋の彼岸にも益々出で行くべくして、是は我帝國本土の特殊物と見るの外なし。

乃ち、我帝國本土は、人口は益々增殖し、同時に、一種の海外移出人口も益々增加すべしと雖も、本土の産業界は、愈々益々勞力の缺乏を告ぐべし、本土政治家財政家は、如何にして此缺乏を補ふ可かに就き、大に考慮する所なかるべからず。今日、我朝鮮人を移入したりと云ふも、尚ほ是試驗的なり。果して其用に適するや否や、[illegible]。後日此半島の産業發達し、我朝鮮自身の、勞力の需要盛なるに至らば、我本土は疾に朝鮮勞働者に依頼するの望を絶たざるべからず。且我朝鮮人は本來滿洲、蒙古、東西比利亞の事に從はしむるに便利なり、今後、此方面の經營にして進むあらば、我半島の勞働者は專ら此方面に引き附けられ、復た本土の爲めに、其多くの需要を充たす能はざるべきは、言を待たず。

世界一周通路 建設の理想 ハリマンの雄圖 …3…

米國の滿鐵司配は 竟に一場の夢なりき

◎揚々として東洋に

夢想? 實想?

當時世人は、世界一周交通路を米國の方寸を以て開設せむとするハリマンの計畫を目して一個の夢想に過ぎずと做し、之を重要視しなかつた。然しながらハリマンには世人の所謂夢想幻想も、必ず之を實想として體現し得べき強き信念が有つた。彼れは實際其の理想を大かた實現して見せたのである。先づ手初めに何かを行ふ――此の精神を守り時たりとも疎かにせざりし彼れは、先づ大約の計畫を立てた。その計畫と云ふのは、即ち日本が幸運なる戰勝の結果露國より獲得せる南滿洲の鐵道の支配權を、日本に交涉して、之を自家の手に收めやうと云ふのであつた。露西亞の手から日本の手に移つた當時の滿洲鐵道は、頗る不完全のものであつたが、ハリマンは之を米國の資本を以て一切の設備を改造し、而して之を彼れが計畫せる亞細亞横斷鐵道の東部線たらしめんと欲した。此の重要なる南滿洲線を己が手中に收めし上は、更に進んで東清鐵道を買收する計畫であつた。露人一たび旅順を失ひたる以上、東清線の賣却は露國の喜んで應ずる所たるべしと、極めて無造作に彼れは考へた。

當面の問題

而して此等の計畫が思ふ通りに進むならば、北滿洲よりバイカル湖に到る間の、西伯利鐵道及び露國領有鐵道に對する經營權を獲得しやうと云ふ、次の計畫が立つて居た。故に滿洲鐵道と東清鐵道を掌握し、且つ又西伯利鐵道以西の幹線鐵道の支配權をも收むる事を得たりとせば、即ち彼れが現に支配經營せる米大陸横斷鐵道と太平洋横斷汽船航路と併せて、世界一周通路の全長の四分の三以上の連續線を形成する事となり、早や此上には米國より大西洋横斷航路を自營して汽船を露西亞まで通せしむることは容易の業たるに過ぎないのである。彼れハリマンは此の計畫を定めて實行しやうと云ふのであつた。然るに此れが實行に當りて、彼れが最も首を傾けて考へたといふのは、如何して日本を說得して、日本が折角戰勝の威を以て占領せる滿洲鐵道經營權を擧げて米國に讓渡せしめ或ひは其の一部の權利を讓渡せしむべきかと云ふ事であつた。此の事は知々困難な問題であつて、此の南滿鐵道、及び之に附屬せる撫順炭坑、並に樺太島の南半部をいふものは、日本が其の巨額の戰費に對する賠償の意味を以て、露西亞より取得せるものの全部を成すのであつて、然かも其の主要なる滿洲鐵道を掴まうと入れやうとするのだから、難かしいのは當り前である。それでもハリマンは寧ろ平氣で行つて見る積りであつた。彼れには僅かに成功し得ると云ふ見込みが有つた。如何になれば、彼れの思ふには、日本は此戰爭で莫大の財力を費やした。日本は今や重き債務を負ふて居る、而して其の諸般の戰後經營に就て資金を要すること頗る急なるものがある。若し滿洲鐵道を引き當てに資金を供給せば日本と雖も、他に急要措く可らざる事業の爲めには、假令滿洲鐵道の經營權全部を讓渡せざるまでも、少くも之を日米合辨にする位の事は、敢て拒まないであらう。手始めとして突き込む所は此邊だと彼れは考へた。而して東清線の買收と西伯利線の利用權獲得とは、南滿線問題に較べると割合に容易なる問題であると信じたのである。

東洋に船出す

ハリマン氏の東洋旅行は、千九百五年の春グリスカム公使の勸誘により愈々決定せられ、間もなく其年の七月より旅行の準備に取掛り一切の仕度が出來た。ハリマン氏夫妻を始めとし、コーネリア、メリー、カロル三令孃アヴレル、ローランド兩令息「ロバート、グーレット氏夫妻」太平洋郵船會社長シュウヨリン氏及びハリマン氏の附添醫ライル氏等の一行は、八月十六日桑港を船出した。乘船はハリマン氏の經營せる太平洋郵船の『サイベリア』號であつた。一行は途中ホノルルとミッドウエイ島に立寄つて、其月の三十一日夕刻に恙なく横濱に到着した。

涼楊詩話 (六) 天彭

△たま／＼北窓に偃臥して挿架の書を亂抽するに北江詩話を獲た。書中に乾隆末年、嘉慶初年に於ける諸作家の短評がある。我等は前に槐南一派は、この時代をねらつた新運動だと云つた。今些しく摘出してその一斑を紹介する。詩話の筆者は有名なる洪亮吉(北江)である。

△蔣士銓(藏園)の詩、劒俠、道に入れども猶殺機を餘すが如し。翁方綱(覃溪)の詩、博士、經を解して心得なきを苦しむが如し。袁枚(隨園)の詩、通天神狐、醉へば即ち尾を露すが如し。畢沅(秋帆)の詩、飛瀑何、地を擇ばずして流るゝが如し。錢大昕(竹汀)の詩、漢儒、經を傳へて師法を隨守するが如し。王鳴盛(西莊)の詩、霽日初めて出で、晴雲空に滿つるが如し。王昶(蘭泉)の詩、盛服して朝に趨り、自ら風度に矜るが如し。王文治(夢樓)の詩、太常の法曲、究に正聲に係るが如し。程晉芳(魚門)の詩、白傳の詩を作るや、老嫗を[illegible]解するが如し。汪中(容甫)の詩、[illegible]を振ひ、時に不平に鳴くが如し。吳錫麒(穀人)の詩、山房の秋曉、淸氣流行するが如し。姚鼐(姬傳)の詩、[illegible]の詩、時に咽ぶ秋蟲、風に舞ふ病鶴の如し。趙翼(甌北)の詩、東方の正諫、時に詼諧を雜ふるが如し。阮元(芸臺)の詩、金莖の殘露、朝陽に晃くが如し。秦瀛(小峴)の詩、久旱の名山、尙ほ容氣を流すが如し。[illegible]文魚を甞ふが如し。法式善(時帆)の詩、盆に紅蘭を栽ゑ、沼に[illegible]の詩、巧匠の琢を[illegible]ふが如し。梁同書(山舟)の詩、山半の[illegible]、天籟に參するが如し。金谷の池臺、人の意を悅ばすが如し。孫星衍(淵如)の詩、[illegible]。張問陶(船山)の詩、飛天の仙人、足、地を履まざるが如し。何道生(蘭士)の詩、[illegible]、道に就きて、厳親すること凡ならざるが如し。[illegible]王謝の家兒、自ら纖檢饒きが如し。[illegible]の詩、洛陽の少年頗る治術に通ずるが如し。孫原湘(子瀟)の詩、玉樹の浮花、金莖の滴露の如し。郭麐(頻伽)の詩、大堤の游女、影を顧みて自ら憐れむが如し。羅聘(兩峰)の詩、仙人の奴隸、曾て蓬萊に入りしが如し。

△淸初の詩風は明季の引繼なるが、この時代に入りて淸詩の特調を發揮し、或は流利、或は綺麗、或は纖靡、或は細緻、春花錦繡を織り、秋草芬芳を競ふの狀、また概見するに足るべきか。

誰 (40) 布施生譯

それにしてもあの勝氣な美那子が背運なら猛然として盛んに鈴富に突懸りそうなものだのに、それも得しないで泣いてゐるばかりなのが合點がいかなかつた。鈴富は何から何まで勝手が違つたやうに感じて暫時は思案も定まらず脫氣のやうになつてゐると、柔鱧の方では此時やう／＼氣を沈めて、先刻椅子の上に落した上衣を取ると急いでそれを羽織りながら「昌さん、何だつてこんな時にいらしたの、二人が氣を大夫に／＼持つてゐなけりやならない時だのに昌樣、貴方がお苦しければ私は猶更苦しうございますわ、貴方はお話を聞いて戴くお友達がおありでしやうけれど、私はほんとに一人ぼつちよ泣くにも泣けず義理にも笑顔してゐなけりやならないんですもの」鈴富は返辭も出ない、柔鱧は言を續けて「昌樣、私何を忘れたのではございませんよ、ですけれど最早覺れてゐても仕方がないの、二人の運命はこれきりよ、昌樣どうぞ死ぬなんてお考は廢して頂戴なね、そんな事があつたら私もう到底耐ねきれませんわ、何卒もう暫時辛抱して時節を待つて下さいな、ね昌樣お願ひですわ」言つてしまふと孃は眼に無量の思を籠めて會釋したなり逃げるやうに出て往つてしまつた。美那子も慌てゝ後を追つた。

雨後は鈴富には大風が吹いた跡のやうであつた。思ひ返すと實に不思議な出會であつた。夢か現か分りかねる位であつたが、段々考へて見ると、之にどうもあの綾な老人が蔭で糸を引いてゐるのである。「あれは一體何者だらう、どんな手段があつて壁尾を手先に使ひ嬢の動靜を探知りさせてゐるのだらう、あの膽氣な美那子迄を自分の思ふまゝに引廻してゐるのだらう。」思ひ亂れてゐる處へ、老人は相變らず落付拂つた顏貌で悠然と這入つてきた。鈴富は飛付いて「貴方は一體誰方です。」噛付くやうな一言にも老人は済ましたもので「君のお父樣の友人ぢやよ、それは最早先刻お話した事ぢやないかのう」「そんな胡魔かしはいけません、あの時は煙に捲かれて言ひたりになつたが――」「はゝあ、それぢや私の身の上が聞きたいと云はれるのぢやな、そんな事を聞いて何のたしになりますかな、貴方は私の助を借りる身分ぢや、黙つて私の言ふ通りになつて居なさい」「しかしそれにしても貴方がどんな手段を取られるか、僕はそれが聞きたいんです」「聞いて何のたしになります」「聞いた上で僕は同意もすれば反對もしやうと思ふんです」「しかし私は乾度之で成功すると保證するかな」「いけません、最早そんな事ぢやいけません、私も大きな男です、私の意思を人に勝手に左右されたくないんです」「大きな男だつて盲目ぢや駄目ぢや、盲目ぢや手引が要りますぞ」鈴富はもうこう云ふ高飛車に抑へられなかつた。

九月號 少女の友
◎昔のお醫者さん……記者
◎研究的の態度……水哉
◎高い樹の上で鳴くあを松蟲(趣味ある新發見)……日比野理學士
◎長篇少女小説 十七年の春秋(本號より新に掲載)……宇野浩二
一冊 拾貳錢 一冊税一錢 半年分七冊共税八十三錢 東京市京橋 實業之日本社

九月號 日本少年
◎南洋から遙ろ遙ろこ……南洋少年 金太郎
◎嗚呼武甲山……芳水
◎恐ろしき船幽靈……老船頭 德兵衛
◎月世界探檢旅行……天耶冠者
一冊 拾貳錢 一冊税一錢五厘 半年分七冊共税八十五錢 東京京橋 實業之日本社

需用は年々多大の激增をなせり
▼京城市内に註文取希望の方は外商員として御相談可致候間履歴書御持參御申込有之度候
卸賣開始
內地各製造元と同一の價格にて差上可申候 諸主の御註文印入印刷は凡て引請調製仕候 見本のみにて御營業の出來る御取引可致候
大正七年カレンダー 日メクリー 柱ヨミカキ 札類
特約店募集
朝鮮繪葉書 名刺用紙 和洋アルバム 葉書臺紙 額書額椽 發行元
各地方每に一店を限り特約店相設け度候間御希望の向は至急御申込被下度詳細は書面にて應答可致候へ共可成御來店を切望仕候
京城本町二丁目 日之出商行本店 振替四〇二番 電話九五六番
註文の引請は今より活動を要す

第八年 八月號 實業法律
日常法律問題 智識問題 賀年諸者問答 語問答 讀者顧問 …
目次(要項)外數十項
△株金は取押出來ぬ … △利子の記載と證書の效力 … (以下細目 [illegible])
東京麴町區紀尾井町三 實業法律社

荷物方募集廣告
一、資格 本船或ハ陸上ニテ相當荷物方トシテ經驗ヲ有シ且外國ヨリノ貨物送狀及仕切狀等ヲ解シ得ル事
一、六名募集ノ事
一、履歴書至急提出ノ事
一、月給ハ面談ノ上取極メノ事
朝鮮黃海道黃州郡兼二浦
三菱合資會社兼二浦製鐵所

鑛山用 八角鋼久數品切の處今回多數入荷割安應需(保證品もあり)
中根商會 南大門外 練兵場前 電話一〇四 二五六

商業登記公告
一、株式會社朝鮮商業銀行(變更)
監査役張斗鉉翟思永ハ任期滿了ノ處大正六年八月八日重任セリ
右大正六年八月拾四日登記
京城地方法院 平澤出張所

採鑛冶金學講習會々員募集 廣告掲載中學科の部三段目「鑛山測量學」とせしは「鑛業衛生學」の誤りに付茲に訂正す。 八月七日

●講和提議公文受領

在英珍田大使は羅馬法王の講和提議に關する公文を英國皇帝より受領したり本件に關する詳細は十六日羅馬法王廳より公表せらるべし(東京特電)

○獨軍飛機六十を失ふ

獨逸公報に依れば東方戰場獨軍の追擊は露軍の抵抗に依り大なる發展を見ざるもマツケンゼン軍正面に於て逐次露軍を壓迫しつゝありと又た七日中獨軍は飛行機六十臺を失ひたり(露都電報)

○露軍の攻勢進展す

露國公報に曰く、露軍は逆擊攻勢を繼續しテスラチング村を占領して敵をクロゼツチ西南高地より驅逐したり露軍の攻勢は猶ほ進展しつゝありと(倫敦電報)

○前露帝秘密に某所へ

前露國皇帝と其の家族はツアルスコエセロ宮殿より某所に移されたるが事は全く秘密の裡に行はれたり(露都電報)

○日支鐵道會議準備

日支聯絡鐵道會議は來る十一月北京に於て開かるべきにつき交通部は各鐵道部所に回牒を發し同會議に正式に提出するに先立ち日本鐵道院當局者の内閣に供する爲め同會議に附議すべき議案を速かに作成して交通部に差出す樣訓令したり(北京電報)

○臨時參議院問題と陸氏

臨時參議院問題は十六日の閣議に附せらる可きが本問題に對し陸榮廷氏より馮總統に對し嚴重なる抗議を申込みたる爲め總統は困難の地位に立ち回答を發せずと(北京特電)

○獨人税官吏悉く罷免

各税關に奉職中なりし獨逸人百二十五名は十四日罷免されたり鹽税所のハウストローチ氏も此の内に含まれたり(北京特電)

○墺國兵保護を乞ふ

十四日支那の對獨墺宣戰布告北京市に於て知れ渡るや墺國公使館守備隊兵若干伊太利公使館に來り保護を求めたり(北京特電)

○正貨總額增加

十四日現在の正貨總額は九億四千五百萬圓に增加せり(東京特電)

○首相天機奉伺

寺内首相は十七日、日光御用邸に伺候して天機を奉伺したり(東京特電)

○學習院長後任

北條時敬氏に内定

學習院長陸軍大將大迫尚敏子は豫て辭表提出中にて波多野宮相は後任者詮衡中なりしが愈々東北帝國大學長北條時敬氏に内定し近く是が更迭發表せらるべし(東京特電)

◎國庫證券使途

十八日より賣出し

臨時國庫證券一億圓の賣出しは十八日より鮮銀本支店一齊に之れを行ふ事となりしが朝鮮にても銀行並に個人側の遊金處分策として應募相當に之れある見込みなり尙ほ過般右一億圓の使途として内七千萬圓は九月二十五日償還期限の到來する露國大藏省證券七千萬圓を政府に於て肩代りし又三千萬圓は朝鮮事業公債に充當すべしと報せしが朝鮮事業公債に充つべし云々の項は誤まりにて三千萬圓も露國軍需品代金の決濟に充てらるゝものゝ如く朝鮮事業公債は獨立して遠からず市場の公募を行ふべしと

◉府尹郡守會同

京畿道にては來る二十七日より四日間管内府尹郡守及び各府郡縣務係主任を召集し面制施行及び一般事務の連絡に就き會同を開催す可し

◉朝鮮各道の米作

日海興業大田支店調査

日海興業株式會社大田支店に於て調査したる朝鮮各道の米作豫想を聞くに忠淸南道中牙山、唐津、禮山、天安、論山、扶餘、大田の各郡は挿秧當時の旱害にて約一割は多少時期を後れたる憾あり土用以後の天候順調なりし爲め發育狀況宜しきを得たるが最近の大豪雨と共に前後二回の水害を蒙り爲めに浸水流失決潰等の損失を受けたる處尠からず平北道博川地方は植付其の時を得たるも先月十三日非常の大水害あり浸水、流失の被害多く殊に牛角里一圓の如きは殆んと全部の浸水を見たり慶南河東郡は水害旱害共に少し江原道鐵原地方は大なる水害を見ず平年作と見るを得べく京畿道鐵威地方は挿秧前の旱害甚しく畓代田の被害を見植付後も多少の旱害を受けたり忠北堤川永同は調査未了なるも多少の水害あるらしく全北益山茂朱地方は殆んど水旱害を見ず成育佳良の見込みなり大體より打算する時は會社の本年の作柄は豐作、水旱害を相殺して平年作には達せざるべく約八分五厘作の見當なるべしと(大田)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○産業制度の整備せざる先き、早くも罷業同盟あり。國家主義の充實せざる前に、早くも世界主義は鼓吹せらる。日本國は、或る意味に於ては、確かに突飛國也。急進國也。而して又た不秩序國也。敢て無秩序國と云ふにあらざる也。

○併しながら勢に順うて、勢を制するは、政治家の能事也。吾人は我が帝國の政治家が、自から突飛的政治家となりて、所謂る煽動者たらず。又た徒らに大勢と隔絕して、頑冥政治家の稱號を甘受せず。適に其中を得て、眞に國民の指導者たらんことを望まずんばあらず。

○我が大和民族には、本來好新的性癖あり、一千數百年前、吾人の祖先が、隋唐の文明に心醉したる當時を回想し、近くは四五十年前、維新以來泰西文明に心醉したる當時に想落せば、思ひ半ばに過ぐる者あらむ。

○併しながら我が大和民族は、永久の心醉者にあらざる也。彼等は須臾にして、醒覺す。時としては意識的に、又た時としては無意識的に。是れ我が大和民族が、一面心醉者流たるに拘らず、尙ほ其の本來の面目を、支持する所以也。

○但だ我が國民が、周圍の勢に感化せられ、傳染するや、極めて迅速、極めて敏快。到底世の自律、自是の政治家の、思料し得る所にあらず。是れ豈に憂ふ可きの一事ならずや。

◉朝鮮航新運賃

大阪商船尼崎汽船が十月一日の出帆船より實行する朝鮮西海岸より内地に至る復航貨物運賃引上内容は左の如し

品名	釜山	木浦群山仁川	鎭南浦
雜貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
從價取貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
最低運賃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
穀物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
棉花	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千鰯石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]

以上は大阪神戶關門揚

品名	釜山	木浦群山仁川	鎭南浦
雜貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
從價取貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
最低運賃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
穀物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
棉花	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千鰯石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]

以上は橫濱名古屋揚

尙ほ商船五光商會協定の下に十月一日より實施する朝鮮各港より内地揚の運賃引上内容左の如し(大阪)

品目	釜山	元山	城津淸津	西湖津新浦
雜貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
從價	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
最低運賃	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
穀物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海産物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◉浮塵子發生

忠淸南道保寧郡、舒川郡及び公州郡管内にては浮塵子發生し水稻の被害夥しきより道に於ては關係農民を督勵して石油を注ぎ之が驅除豫防に努め居れりと

◉生牛益々停滯

釜山に集散する生牛は益々增加の一方にあり目下神仙臺の生牛檢疫所に繫留し居るもの約一千四五百頭此の外釜山鎭方面に空しく繫留し居るもの約三千頭に達すべく此の如きは釜山生牛檢疫所開設以來未曾有の出來事なりと

◉南浦貿易激增

本年解氷以來鎭南浦貿易は異狀の盛况を告げつゝあるが去る八月九日迄の貿易累計を見るに已に一千八萬を超ゆ是を前年同期の五百二十一萬九千圓に比すれば實に九割二步强即ち百七十八萬二千圓の激增にして大正五年度新貿易に比すれば僅かに百九十九萬圓を以て其額に達すべく昨年度の九月以降十二月迄の貿易額六百二萬と同一の步調を辿るとするも尙千六百餘萬圓の貿易額を示すべくしかも本年は一月以降八月に至る漸進的貿易額を示し居れば或は二千萬圓を突破すべき趨勢に在り尙ほ八月九日現在の輸移出入額は輸移出六百八萬二千五百二十圓前年同期に比し五割八步八厘增輸移入三百九十九萬九千五百十圓前年に比し二倍七分十七割二步四厘の激增なり

◉朝鮮步兵募集

朝鮮步兵隊にては十八歳以上滿二十五歳の身體强壯國語鮮文讀文を解し科料以上の刑に處せられず入營後滿二年以上服役する鮮人步兵五十名を募集しつゝあり希望者は九月一日必要書類を携帶の上光化門通りの朝鮮步兵隊に出頭すべしと

◉露貨換算率

日滿連絡貨物引換代金換算率中東淸及び烏蘇里線着の場合は本月十六日以降當分の内百圓に付露貨二百七十三留とす旨京管局に通知ありたりと

◉駐劄軍准尉入校者

朝鮮駐劄軍部隊より選拔され八月十日第一期准尉候補生として陸軍士官學校に入學を許可せられたる者左の如し

第十九師團步兵第七十三聯隊 陸軍步兵特務曹長 柴田信吉
同 同 小幡信銘
同 同 足立芳男
步兵第七十四聯隊 同 藤田松次郎
同 同 鈴木猪吉
同 同 田中理重
步兵第七十七聯隊 朝倉巳之七郎
同 陸軍步兵特務曹長 佐藤詩治
步兵第七十八聯隊 陸軍步兵特務曹長 三浦勇
同 同 關山紀義
同 同 奧吉太郎
騎兵第二十七聯隊 陸軍騎兵特務曹長 小山清雄
野砲兵第二十五聯隊 陸軍砲兵特務曹長 星川龍助
步兵第七十九聯隊 陸軍步兵特務曹長 高橋長吉
同 同 濱西千太郎
步兵第八十聯隊 陸軍步兵特務曹長 安田忠次
同 同 竹石政太郎
同 同 有田勇
龍南憲兵隊 陸軍憲兵特務曹長 森田伊助

◉志賀氏招待會

元山に於ける講演會に臨み金剛山を探勝して十七日午後五時入京したる志賀重昂氏の爲めに札幌農學校々友並に早稻田大學校友發起となり他に有志者も加はりて同日夕刻ファミリーホテルにて晩餐會を催ほしたるが出席者は亥角仲藏、大田三郎、金谷充、小田省吾、岡田虎輔、阿部充家、大垣丈夫、朝倉外茂鐵、權藤四郎介氏其他四十名にして席上志賀氏の興味ある卓上談話ありて盛會裡に散會志賀氏は直ちに七時五十分發列車にて歸東の途に就けり

◉校舍敷地視察

十七日午前入澤京城第一部長道學務係主任及び地方係主任並に金谷府尹は今回軍より京城府に寄附讓與する事となりたる龍山練兵場跡の校舍敷地の視察を爲せり

◉青山島最終漁

全南青山島の最終漁期たる客月二十二日より二十九日に至る漁況成績を聞くに鯖八十二萬二千四百四十尾金額二萬五百六十一圓、鰺二十七萬二千三百六十尾金額六千二百六十四圓二十八錢の漁撈あり、組數十三、漁船六十五隻、漁夫三百九十人にして其後漸次引揚中に屬し陸上の設備等も夫々撤廢しつゝあり

◉夏繭競賣

江原道金化郡蠶業共同販賣組合にては二十日同郡廳に於て夏蠶繭約四十貫を競賣する由

人事消息

▲京都紀辨福 十七日午後九時着入京
▲スキンアード氏(米國人) 十七日光州より入京し朝鮮ホテルへ投宿せり
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 十七日夜入京南山...
▲宮川五郎三郎氏(京城電氣會社長) 十七日夜退京したり
▲山縣元向氏(久原鑛業所鎭南浦製錬所長) 十七日夜入京山本旅館
▲小山貞次氏(同技師) 同上
▲華岡松次郎氏(大阪府視學) 同上
▲吉野利氏(大阪夕陽丘高女校長) 同上
▲柏原彦次氏(大阪鶴英學校長) 同上
▲京都第一高等學校生徒見學團(三十名) 十九日夜入京南山

南言北語

米國ペンシルバニアにベルサリンと云ふお孃さんがある▲伯林で捕虜になつて居る兄に宛て▲或る日『カイゼルの眼玉を引き拔いてお遣んなさい』と手紙の中に書てやつた▲すると五六週間してベルサリンの許へ一箇の小包が著いた▲開いて見ると生々しい人間の眼玉が二つ薄紙に包んであつた▲其れ以來兄の消息は絕ねたが可愛相に其の眼玉は兄のであつたらしい▲と近著の紐育サンに載つて居た眞僞は知らぬけれど獨逸人の慘虐を能く現はして居る▲今度男爵になつた奧田義人閣下の袋酒と云ふのを紹介せう▲今でこそ閣下は學生に倫理の講演をしたり淸貧論を著したり謹嚴荷もしないが▲昔は却々何うして暴れたもので池の端時代などは▲斗酒猶ほ辭せず醉到れば則ち双指を以て袋を引延ばし▲盃に換へて波々と酌がせ『サア此の袋酒を飲め』とやり出す▲側の者が逃げると其れを追つかけ廻すのを興がつて大喜び盛にやつたものだと▲最一とつ一木新顧問官の趣味を紹介せう▲刀劍の鑑賞と云ふ頗る高尙なものである▲現に九段遊就館の刀劍會中でも古い會員で目下評議員か何かして居る▲此の趣味の深くなつたのは田中光顯伯の手引で專ら備前物を得意とし▲古備前長船一文字抔は一見明瞭である相な▲處が時とすると鍛冶屋廢止機械打ちの論など持ち出して人々を驚かすから面白い

支那の政界(一)

上海 鴻鵠生

○何か腹が突張つたやうな感じがするから、筆を執つて見る。何を云はうといふアテがあるのではない。

○支那といへば猫も杓子も對支政策がどうかうと來るが、どうしても對支政策をやらいふものはなければならぬものだらうか、假になければならないにしても、南方援助とか北方援助とか、絕對無干涉とか融通のきかない鑄型に嵌まつた主義方針といふものをどうしても、樹てなければならないものだらうか。

○北方援助もいけない、南方援助もいけない、さりとて此際絕對無干涉我不關焉では果して如何だらうか。

○近代の文藝思潮が浪漫主義から自然主義に移つて來たやうに、支那問題も最早觀念論、理想論を離れてそろ〳〵自然主義的觀察を下すべき時が來てゐると思ふ、紅葉露伴流の支那通はもう時勢遲れだ、今は正に支那問題の花袋や獨步や藤村が起らなければならぬ時だ。

○實利實益を旨とする經濟上のことは勿論、何程か理論を貴ぶ政治にありても、此理は同樣である「民主思想は近代の大勢である、故に南方に味方すべし」といふやうな簡單な演繹法は二十世紀の論理としては一寸受取り難い。

○先づ何よりも先に事實を知ることでなければならない。と論ずる前にからであると知ることが肝心である。僕の支那研究は此處からはじまる、無論まだ一年生だが、學校が寺小屋でなく新式教育であるだけが自慢だ。

○扨此一年生、經濟學の方は大分御得意だが、これはとつておきとして不得手な政治學の試驗答案の一端を御披露に及ばう。

○支那は問題の國だ、問題の國には問題が多い、問題の鈴生りだ、之を今日に見るも、曰く借款問題、曰く參戰問題、曰く張勳處罰問題、曰く淸帝問題、曰く丁擾問題、曰く何、曰く何。

○併し是等の問題は、多くは餘り一年生たる僕の感興を惹かない、何故なれば是等の問題は多くはought to beの問題であつてto beの問題でない、議論をするのには結構だが、要するに爲政者の意思如何に依つて決する問題で一年生がどうかう云つて見たところで仕方がない。

○先に議論は止めにして支那政界の實情がどうなつてゐるかを見やう。

◉奉天だより

▲四鄭運輸課長 四鄭鐵道は[illegible]課を開設し事務の統一を圖るべく同課長には滿鐵庶務課員にして過般來同鐵道に關する要務を帶び北京へ出[illegible]

[illegible]々對獨宣戰を發表せる通報に接するや張督軍は直な撤廢すべき筈なりし[illegible]輸司令部及衛戍司令部を更め宣戰[illegible]

[illegible]内に償却すべき外債の數甚だ多きより張督軍は財政廳長以下各重要人物を召集し財政會議を催せしつゝあり聞[illegible]あるより當局は償却法に就き苦心し居れりと

▲保[illegible]金支拂 過般燒失せる[illegible]て種々協定の結果契約金額に對する六割五分即ち十二萬九千三百五十圓四十錢を支拂ふ事に決定し既に[illegible]

[illegible]用し他より移入を仰がざるの主旨にて之が製造を獎勵しつゝ[illegible]紙製造者は廿[illegible]込みは各郡[illegible]百四十七[illegible]造さるゝ事となり[illegible]方來年春蠶の需[illegible]ける處尙北道管内[illegible]狀況を聞くに慶州郡一萬五千四百三十二圓迎日郡二萬七千六百五十六圓[illegible]

賣却廣告

一、汽罐其他機械拾五點

右詳細八月貳拾壹日ノ官報ヲ見ヨ

海軍建築部支部

物品賣却

一、第一號 古金物類 五點
一、第二號 雜品類 參、貳五點
一、第三號 古銅管類 貳〇點
一、第四號 古製服類 壹、六六本

右當局倉庫渡ニ依リ來ル八月三十日午前拾壹時迄入札ヲ受付同日午後一時開札ス
入札ニ關シテハ理度課ニ承合ノコト
但詳細ハ理度課ニ於テ承合ノコト

大正六年八月拾七日 南滿洲鐵道株式會社 京城管理局

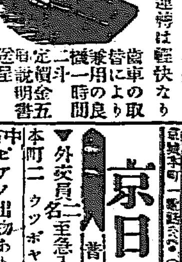
監督外務員採用

給料支給 自筆履歷書携帶本人來談但し確實なる保證人二名を要す

日華生命 朝鮮出張所 所長 水沼千鶴

京城本町一丁目 清光館

最新發明製粉機



◉麥は胃腸病に特効あり
◉製粉は完全運轉は輕快なり
齒車の取替により兼用の良機
一時間 二斗 定價金五
說明書送呈
▲平麥▲煎餅團子粉、製藥、染料其他ノ製粉用に適す(動力用あり)

機械製作 東京下谷西町一 小平合名會社 電話下谷二二 振替東一八七四〇

鑛區買入

銅 鐵 鉛 亞鉛 鑛 鑛區買入致候
但許可權先願權及新發見共
右希望者は直接御申込相成度候
京城旭町一丁目電話九五五 三友鑛業事務所

試金用各種 坩堝販賣 白上商店

稷山鑛業株式會社 第十二回決算報告書(大正六年上半期)

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	貳、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
仕拂手形	貳五九、貳七壹、八四
銀行預金借越金	參五、壹貳八、四〇
法定積立金	七九、貳五九、四壹
採鑛積立金	壹五、八參〇、六九
前期繰越金	參〇參、八六九、六七
當期利益金	壹五六、七八壹、八五
合計	貳、八五〇、壹四壹、八六

資産之部

科目	金額
鑛業財産	貳、貳壹〇、參五參、參七
什器	貳、九貳六、四八
受取手形	貳〇、八九參、〇六
假拂金	貳貳、貳〇參、參九
建築勘定	貳參〇、五〇〇、五參
未收入金	九六、七五七、七四
在庫品	貳六六、五〇七、貳九
合計	貳、八五〇、壹四壹、八六

利益勘定

科目	金額
當期利益金及前期繰越金	四六〇、六五壹、五貳
内 法定積立金	七、八參九、〇九
賞與金	壹貳、〇〇〇、〇〇
配當金(年八分)	八〇、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	參六〇、八壹貳、四參
合計	四六〇、六五壹、五貳

大正六年八月拾參日
朝鮮忠淸南道天安郡笠場面良垈里
稷山鑛業株式會社

最新刊

◎天然生活法 八五
◎臺灣植物誌目錄 一、六〇
◎南洋貿易事情 三、五〇
◎滿洲の經濟 七〇
◎滿蒙經濟要覽 一、〇〇
野中元三郎著 定價九〇

新譯韓非子

◎鐵道會計 一、五〇
◎大藏要義 第一二三卷 各一、八〇
◎全鮮鐵道沿線名所旅行案内 八五
◎鐵道旅行案内 一、二〇
中村敬宇先生遺文 定價六五

學生及青年の修養良材 作文軌範

◎朝野金剛山探勝記 一、〇〇
◎鎭守の森と盆踊 一、二〇
◎日野文及警察用語 五五

大阪屋號書店

京日案内

普通

▼外交員二名至急入用 廣告に經驗ある人 436

中古ピアノ出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町二 ウツボヤ書籍店 電二五二七 ウツボヤ樂器店 電五五七 435

◎配達人數名至急募集す希望者は本人來談あれ但し市内確實なる保證人を要す 明治町二丁目町田新聞部 442

◎藥劑師又は藥局生採用す希望者は履歷書送付せらるべし 京城府苑南洞一四九 保田正昇 432

番外

●宅地賣却 場所櫻井町二の一壹二 一百廿三坪 御望の方は左記へ照會 市外麟島 富田兼吉 423

外勤社員募集 委細面談 地方在住者は履歷書送れ 京城永樂町二丁目 愛國生命保險會社出張所 439

礦物定量分析 太平町二丁目 電話長二三四四 朝鮮公論社 坂元分析所 322

○サウスクランド號自轉車 京城南大門通一 振替三四〇六番 電話一九二三 清水自轉車店 334

恩給年金 三年分迄無保險 一五年分迄立替月利一步二厘手數極安 京城南大門外 西鮮支店 京義線沙里院 廣川商店 山口屋 307

魔法瓶及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 379

貸家 事務所向敷地二百坪建物約四十坪 附屬倉庫付 所在地 漢江通瓦斯會社向 中根工場 444

賣家 浪板約千五百坪 バラック建約六十坪 所在地 漢江通瓦斯會社前 電話龍二棟五六番 中根工場 445

店員入用 年十六七八歲 要保證人 本人午前中に來談 龍山驛裏 中村運送支店 電三三三番 441

間自働車 乘合賃金片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 春川 京春自働車商會 松田壽男 360

營業を開始すべき確定なるが四平街八面城間は愈々九月上旬より營業開始の事に決定したるを以て近く運轉…べし目下大連滯在中の同鐵路局長閻馬氏同道近日中出發赴任すべしと

▲宣戰と張督軍　十四日朝奉天…したり倘其の事に就ては孫師長王廳長兩氏をして管轄せしむる事とせり

▲外債償却難　奉天省は近月…永昌公司の十萬元德華銀行の九萬兩正和洋行の十七萬餘馬克及び大倉組の利息等にして信用に關係するもの…日本、英國、橫濱の五社に對し總額二十萬圓の契約を結びゐたるが右は其後滿鐵側と三井保險部との間に於て…

●全南蠶紙自給　全南道に於ては成るべく自作自給を計り蠶紙の如きも成るべく道內製造のものを使…蠶業講習所にて二千百枚內外の製造を爲す見込みなれば…八百八十五枚の蠶紙が本道內にて製…一萬九千…を以て需給の目的を充分に達し得べしと

●慶北漁業狀況　客月中に於ける…漁獲高を見たり尙本年一月よりの漁獲高累計は八十五萬一…

◉敵兵の姿を見ずに戰爭

電信電話を最善に利用する歐洲戰

◇遞信局通信課長　矢野義二郎氏談◇

目下の歐洲戰爭が從前の外の戰爭と趣きを異にしてゐるものの一は敵味方共に其の姿を相手に見せず砲彈を飛ばし

▣銃火を交へ　てゐる事である、事實戰線に於て兩軍共に敵兵の姿を見る事は甚だ稀れで、單に突擊の場合に限るとさへ云はれてゐる、ある米國人は獨軍側に從軍してゐたが其の間の一週間に

▣戰線で敵兵　を見かけた事は僅に數百に過ぎなかつたと云ふ、斯の如く敵兵の姿を見ずして戰爭をする事が出來るのは全く電信電話を最善に利用し又飛行機の活動のためである、若し電信電話がないならば敵と比較的

▣距離の遠い　砲兵の如きは全く活動し能はざる狀況にあるだらうと思はるゝのみならず步兵の前進も亦事實困難であらう、されば歐洲戰爭に於て敵味方共に電信電話の活用は實に非常なものだ、露軍は東部戰線に於て露國の野戰電話隊が

▣敵狀偵察　をなし之れを本隊に通じてゐる所である、實戰用として電信と電話は何れが勝れると云ふに單に正確と云ふ點より云へば野戰電信は電話より勝つてゐるけれど迅速の點より見ると電話は電信よりも利便なるのみならず電信は

▣相當訓練　を經た技術員でなければ之れが取扱ひをなす事を得ない缺點あれど電話は電信の如く特別の技能を要しない利便を有してゐる、されば獨逸軍では主として野戰

電話を使つてゐるらしく千九百十四年の

▣開戰當時　に　ては一部隊の司令官は少なくも六十の電話機及び七十五哩の電話線を使用してゐたと云ふ事である、米國の雜誌に面白い電話に關する話しが載つてゐた、米國市俄古の

▣或る富豪　が其の旅行不在中、一子息は頗る重患に陷り、五時間以內に手術をせねば生命危篤となつた、併し折り惡しく其の親父の所在が不明で手術の承諾を得る事が出來ず大に困つてゐた、所が幸ひに電話會社……米國の電話は官營でない……支配人の盡力で

▣平素旅行　中　其の主人が宿泊する事となつてゐる各地の旅館に宛て主人の在否を大急ぎに問ひ合せたが遂に其の所在を突き留め結局子息の大手術をなし病氣は全快したと云ふこれは米國に於ける市外電話線の普及且つ完備せるため

短時間內に

同時に各地各方面に通話し得たのである、若し電話が完備してゐなかつたなら、其の子息は生命を失つたかも知れぬ、要するに電話發達の如何は時に個人の生命に關する事あり、野戰電話の如きは一軍の運命にも關するものである

東部戰線に於ける露軍の野戰電話隊

◉僞電話で詐欺

旅館の女中を裝ふて

熊本縣天草郡本戶村生れの吉永あさの（二）は京城本町一丁目日ノ入屋大正館に止宿中八月十五日午前十時半本町一丁目吉著屋山路善吉方へ自働電話にて東京旅館よりの通話なりと稱し唯今女中を遣はすに依り古著を渡し呉れと掛け置き直ちに山路商店に行き東京旅館の女中なるが如く假裝しお召單衣一枚外三點（三十二圓）を騙取したること發覺し本町警察署に引致取調べの結果六月三日本町一丁目染物業岩瀨方に至り黃金町二丁目三十六番地金澤千爽と僞名し組織物三反を小紋に染め換へしめ染上賃八圓を不拂ひの儘件の品物をも詐取したることも判明し身柄は檢事局へ送らる

◉郵船熱田丸

忍術を使ふ

一時は大騷ぎ

日本郵船會社歐洲航路船熱田丸（七千九百七十四噸）は門司寄港中十七日午前九時五十分突然同船より白煙濛々として立上り附近一帶煙に包まれたるより陸上にては爆發なりと停られ大騷動をなし港務部汽艇急遽現場に驅付けたるが同煙は危險區域航行の際敵潜航艇に會したるとき烏賊の墨汁を吐く如く船體を晦ますべき爲め貯藏せる燐の一部を煙出器に入れありし所その水氣缺乏し自然發火せるものなりし事判明して何れも安堵したり（門司特電）

◆練習艦隊に

侍從御差遣

岩村海軍少將の率うる練習艦隊常磐、八雲の兩艦は十七日午前九時無事橫須賀に入港し目出度く遠洋航海を終へたるにつき畏き邊りより四竈侍從武官を御差遣あり御慰問あらせられたり（東京特電）

◆天津の米軍司令官……ヘール少將

―一年半振りに本國へ―

◆支那の生活は愉快だつた

これまで天津駐屯の米國軍司令官であつたヘール陸軍少將は、こんど大佐から少將に榮進して歸國の途次、十七日の朝入京、一行五人と共に朝鮮ホテルに投じて同夜南行列車で釜山に向つた…[illegible]

府の命令さへあれば自分で自分の…[illegible]

△小柄　[illegible]

△支那　[illegible]

△長崎　[illegible]

△占領　[illegible]

◉平安宮址保存寄附

大阪秘密寫志團より奈良縣平安宮址保存寄附を申込みたり（大阪特電）

◉大風呂敷の賊

深夜黃金町で捕はる

八月八日午前二時頃大風呂敷を背負ひたる風體怪しの野人が黃金町二丁目を通行せるを巡廻中なりし本町警察署の巡査が發見して誰何したるに直ちに逃走を企てたるより三角町迄追跡して取押へ引致取調べの結果同夜午前一時頃黃金町三丁目李容根方に忍び込み衣類二十餘點（二十三圓）を竊取して其の逃走中なりしこと判明したるが同人は前科二犯あり身柄は檢事局へ送らる

◉電車に刎飛さる

十七日午前八時五十分頃京城昌成洞朴收鍾（六）が荷車を挽き南大門通り五丁目京城旅館前を南大門驛に向け電車線路側を通行中折柄後方より進行し來れる京城電氣株式會社の南山行八千四號電車が荷車に衝突し爲めに積載せる材木轉覆したる途端に其の後に引き續きて來れる高陽郡淸涼里朴書楠（五九）が背負ひたる野菜と共に刎ね飛ばされたるが負傷なく損害輕微なりしも全く運轉手の過失より起りたるものゝ如し

◉振武會士用納會

京城本町署構內演武場に於て每日武術稽古中の振武會にては土用稽古納會の爲演武大會を十七日午後一時より開始せり出場者約三十名三人拔五人拔等あり午後五時無事散會せり

◉壽座の喜劇

今夜限り

本紙讀者半額

本紙讀者全部に半額券を配付したる壽座の喜劇は新派一座五郎一座は十七日の如き滿員の盛況を呈せるが十八日は既報の如く同一座得意の出し物、「淀草」「東風抱春」三人滑稽其他面白きものゝみを撰て上場する由

◉大阪敎育觀察團歡迎會

京城に於ける大阪府人會は同府敎育觀察團一行の來京を機とし十八日午後七時より南山町京城ホテルにて歡迎會を催す由

◉井內局長母堂の訃

朝鮮銀行調査局長兼檢査局長井內勇氏母堂は去る十五日東京に逝去したり尙ほ井內氏は母堂重態の報に接し十二日朝南大門驛發東京牛込區鶴巻町の自邸に歸宅中なり

▲北鮮から歸つた城復鍋法院長のお土產ばなしによれば淸會線の鐵道も大部進捗して今では茂山嶺を越ゑて古豐山まで開通した▲それで午後の二時過ぎに淸津を出た人はその日の夕方會寧に安着能きることゝなつたさうな▲序に寫眞のお土產を伺ふと「イヤハヤ文明はありがたいものさ、此の前感服した風景が這回見ると二三箇處消え去つてゐる」▲その一つは淸津港の岩角だが這回見ると折角の岩が持ち去られて波打際には囚徒が土もちをして居る有樣▲次いで會寧では圖們江の水淺みを樂しみにして行くと此處にも鐵橋が橫褒を極めて居て何處も大失望さと大笑ひであつた▲法院長といへば例の高山植物で山登りの大家として知られて居るが昨今これも山岳會仲間の某歯伯から印度はヒマラヤ山の寫眞を贈つて來た▲寫眞は二萬何千尺のエベレット峰に萬古の雪をいたゞいた大觀で畵伯は約束通り遙に印度のダージリンから送り越したものだ相な▲法院長また曰く「よく世間の人から高山植物は何が面白いかと訊かれるが、唯だ面白いから面白いだけで別に法律のやうに原則はないさハツハツハツ」

◉第三艦隊戰鬪射擊中

敷島艦に椿事發生

下士卒死傷者十七名を出す

十七日海軍省發表によれば十六日夜第三艦隊戰鬪射擊中敷島艦に於て椿事突發し卽死者卒四、重傷者下士二、卒六、輕傷者下士二、卒三を生じたり原因未詳目下取調中（東京特電）

目ニ見ヘテ　ズンズンキク　ジュマズイタマヌ　井上博士ノ　ロート目藥

眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に惡いからロート目藥には消毒した布を下圖の樣な新案の點眼器を添へてある

定價　全國各藥店にあり　本舖…東京、大阪…小西十兵衛　大阪北濱…山田安民藥房

本舖　大阪天滿橋　樋屋合資會社（全國到る處の藥店にあり）
樋屋奇應丸
主治　癇癪　氣絶　五疳
効能　解熱　疱瘡　痲疹
小兒良藥

金銀品製作
指輪專門
京城本町一丁目
高木商店
電話九九一番　振替京城九〇〇番

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版　亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀懇切を旨とし御需めに可應候
京城日報社寫眞製版部

請合藥　りん病
請合藥　ばい毒
京城南大門外
大阪ドラッグ商會滿鮮總本部
停車場通
但物アリ注意
詳細ハ本月十六日ノ本紙ヲ御覽

明治町佛蘭西敎會坂下（舊明治町入口）
女ドクトル　中村齒科醫院
電話一五三番
分院（黃金町二丁目郵便所隣）電話一八九番

臨時國庫證券募集廣告
今回大藏省令第二十四號ヲ以テ臨時國庫證券募集相成候ニ付應募御希望ノ向ハ左ノ各項御承知ノ上當店ヘ御申込相成度候
一　募集金額　一億五千萬圓
二　利率　年五分
三　利子仕拂期　每年三月一日及九月一日
四　初期利子　大正七年三月一日ニ於テ額面百圓ニ付金貳圓四拾錢ノ割ヲ以テ仕拂ヲ爲ス
五　償還期　大正九年九月一日
六　申込期間　八月十八日ヨリ同二十二日マテ　但シ申込期間中ト雖モ滿額ノ場合ニハ締切ルコトアルヘシ
七　應募保證金　申込高百圓ニ付金五圓ノ割ヲ以テ申込ノ際拂込ムコト
八　發行價格　額面百圓ニ付金九拾八圓ノ一定價格
九　拂込期日及金額　左ノ通
　第一期　本年八月二十四日　額入高百圓ニ付金五圓（保證金振替）
　第二期　同年同月二十八日　金二十圓
　第三期　同年九月十一日　金七十三圓
十　拂込延滯日步　本年九月二十五日期限ニ拂込金百圓ニ付金四錢
十一　代用證券　其代用證券ハ大藏省證券ヲ以テ額面金額ヲ以テ計算ス
十二　代用證券ハ申込ノ際若クハ第二期拂込期日ニ於テ提出スルコトヲ要ス
十三　代用證券ヲ申込ト同時ニ提出スルトキハ保證金ヲ要セス
十四　拂込金ニ充當シタル代用證券ノ超過額ハ第二期拂込期日ニ於テ現金ヲ以テ拂戾ヲ爲ス
十五　募入方法　申込高カ募集額ヲ超過シタルトキハ代用證券ヲ以テスル申込ハ優先募入シ其他ハ適宜割減ヲ爲ス
右廣告候也
大正六年八月
日本銀行京城代理店（朝鮮銀行內）

中央婦人病院
京城明治町二丁目（元京城病院下樋通）電話二三四〇番　院長　衣笠義

蛋白　澱粉　脂肪　消化劑
プロテアーゼ
本品は東京帝國農科大學　三宅理學博士　の最新發見に係る一種のエンチームにして
蛋白質に對し最も强度の消化力を有す……
從來本邦に於ける消化劑は主として澱粉質にのみ有効にして蛋白質には未だ理想的のものなく實に本品を以て第一となす……加ふるに本品は
澱粉質に對しても其消化力諸種のヂヤスターゼに優り尙脂肪分解作用をも兼有す、之れ本品が他のあらゆる消化劑に比して超越せる所以＝內務省東京衞生試驗所の報告も亦之を證明せる眞に世界的の大發見なり
胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化劑を服用せられつゝある人は速に本劑を試み其の偉効を知れ
粉末と錠劑の二種あり
定價　粉末　二五五　一〇五　一圓四十錢　六十五錢
　錠劑　百錠　卅錠　九十錢　三十錢
星製藥株式會社
東京京橋南傳馬町三丁目
電話京橋一七八五　振替東京二〇五三
各地藥店及特約店にあり

東洋卒先者たる我田中カーバイドは品位卓越にしてアセチリン瓦斯の發生力最も强大なる事他品の遙に及ばざる所世間の定評なり
カーバイド
各種ランプ及附屬品
漁業用鑛山用室內用自轉車用作業用等堅牢完全なる各種ランプ及附屬品格安に販賣仕候
田中カーバイド鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地
山陽商會

花筐（はながたみ）（八四）

松田竹の人作

京子は爽かな語調で、

「先達御診察に入らッして下さいました時、鳥渡伺ひましたには、静岡縣の御出身とのことでございましたが、妾の父も又静岡縣の出身ですから、鐵面皮しうはございますが、それを御縁として御願ひ申さうと存じまして……。」

「然うですか、何時か御尊父さんも静岡縣の御出身だと承りましたですね……然うして御願ひは什麼いふことですか。」と清徳は謹厳な態度で訊く。

「外でもございませんが、妾は看護婦に為りたいと存じますから、其れにつきまして、御病院に置いて戴き、修業致したいと思ひますが、如何でございませうか？」

「御見受けすれば、御見分のある方の御夫人で、何にも御不自由はない方だと思つて居りましたが、何故看護婦に為らうと御思ひに為つたのですか。私は東京に病院も有つてゐますし、御存じの通り、此逗子にも小規模ながら分院を有つて居りますので、看護婦の見習も要らんことはありませんから、御判断が成程と腑に落ちましたら、御希望を容れて上げても宜しいのです。」

「有難ふ存じます。然う深い御交際があるのでもございませんが、先生の御人格の御高いを御慕ひ申しまして、鐵面皮しうはございますが、事情を申上げて、御相談致すのでございます……妾は日本鑛産株式會社の社長を致して居ります市野誠信と申すものゝ妻でございまして。」

「當時實業界で御名のある市野誠信君の御夫人であらッしたのですか、御名字が市野さんと申すことは、診察致して承知して居りましたが、市野誠信君の御夫人とは存じませんでした。確か市野君も静岡縣の御出身であつたやうですね。」

「左様でございます。」

「同郷の[illegible]一所に[illegible]にかゝつたことがあつたやうな氣が致します。實業家として名ある市野君の御夫人であるからは、何も御不自由のない御身分でせうに、何故看護婦に為らうと御思ひ付たのですか？ [illegible]から先づ伺ひませう。」

「實は悪るい者の為めに誘惑致されまして家出致したのでございます。」

「それは呆しからんことですね。」

謹厳で硬直である松本清徳であつたから、宛も窘めるやうに言ふて、煙草秩から葉巻烟草を取り出すと、燐寸を燃つて吸ひつけた。紫氣の烟は、海風に吹かれて軽く四散する。

京子は恥らひ顔で、頭が衣服の襟に入るまで、首を俯垂れて。

「全く妾が浅慮であつたのでございまして、今では後悔致して居ります。」

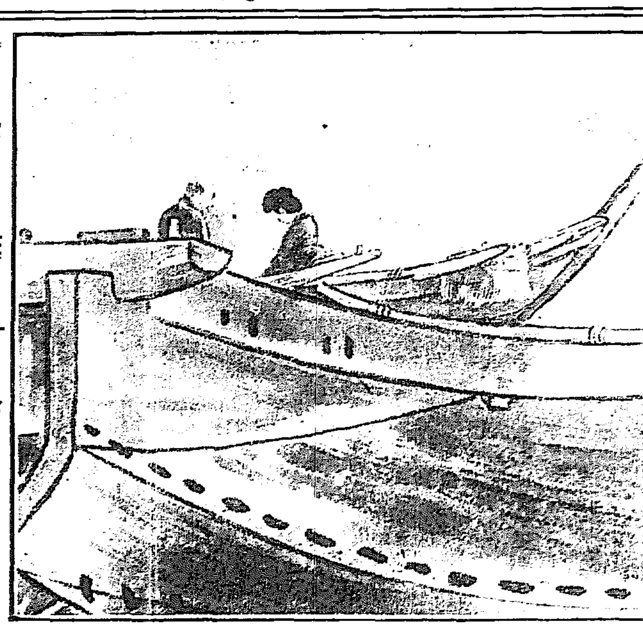
「立入つたことですが、然う致すと悪るい者の為めに、誘惑に御遭ひに為つたとすると、継にでも御落ちに為つたのですか？」

「いゝえ左様ではございません。誘惑を受けて、家出は致しましたが、貞操は決して破つては居りません、元來夫の不身持を直さうと思ひまして家出でございます。」

「然うすると、御嫉妬が伴つて居りますね。」

「まあ然した傾きもございませう。」

「嫉妬は不可ませんですね。婦人に嫉妬は大禁物です。其為め夫婦の間に風波の起るのは往々あることでしてね。現に貴女の御家が然うア[illegible]せう。既に過去のことですから、深く御咎めは致しません、御謹慎に為つたこともあるでせうから、御後のことも御宜しいです。ところで、私が御相談を受けて見ると、根本から明かにして、然うして御解決を着けたいと思ひますから、猶ほ詳細に承りたいですが」と清徳は眉宇の間に誠意を泛せた。



好きなアンパン きらいなおさけ 木村屋來なけりや夜があけぬ （京城明治町 電二八七〇）

印章ゴム 版木彫刻 名刺印刷 京城本町一丁目 千代田舗 電話九八七番 振替八八七番

新刊紹介

▲婦人畫報（八月號） 東京々橋區[illegible]
▲教材集録（六の八） [illegible]（一部二十錢）
▲大道叢誌（三五〇） [illegible]（一部十錢東京小石川區[illegible]大日本國教大道社）

西洋料理 アイスクリーム おいしい御京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

▲銃獵界（二三の八） 蓋し銃獵雜誌中の随一のもの今や銃界斯界の猛者は皆[illegible]（一部十二錢[illegible]）
▲黄海道輸移出入貿易（大正五年）一[illegible]
▲子供の友（九月號） 面白い話り物語い切組[illegible]（一部十二錢東京雜司ケ谷[illegible]四八婦人之友社）
▲日本浪人（二の八） 支那問題研究號として諸名家の論說、[illegible]（一部二十錢東京芝[illegible]日本浪人社）
▲講談倶樂部（九月號） 文士の講談を[illegible]（一部二十八錢東京本郷區駒込[illegible]四八講談社）
▲債券利殖秘傳（勧彼堂主人述） 本書の要點は債券を買へば年四割以上二十八割までに資金を運用する事が出來ると云ふにありて之を說明したるものなり（一冊三十五錢東京牛込市ケ谷田町良書刊行會）
▲人格と幸福（五の八） （一部六錢京都祇園[illegible]）
▲海友（八八） （一部十五錢大連寺内通り大連海務協會）
▲志道者の友（三） （一部五錢東京神田美土代町基督教青年會館内宗教通信社）
▲半島時論（一ノ五） （一部二十五錢京城南[illegible]一九六社）
▲正則中學講義錄（五ノ三） （東京神田駿河臺大日本國民中學會）
▲鑛業時報（八月號） （一部十二錢大阪[illegible]電鐵岡町停留所前社）

かつけ新藥に就て 心あるものは都築ドクトル學術報告の一節を讀め!!

（說明書進呈郵券二錢） 醫家ニ限リ送料不要

毎月新聞附錄學術號第一冊（アンチベリベリン治驗集第四冊）ヨリ發表

○大正五年中ニ於ケルアンチベリベリン療法ノ治績

都築脚氣研究所長ドクトル 都築甚之助

第一 緒言

○明治四十二年都築脚氣研究所[illegible]創立[illegible]驗的アンチベリベリン療法ノ學術的根據ヲ[illegible]而アンチベリベリン製劑ヲ[illegible]戰者關[illegible]年有餘ノ歳月ヲ[illegible]論得[illegible]熱案（特發案二號）ニ脚氣豫防[illegible]確定[illegible]器 Fletcher Fraser 氏等ノ動物[illegible]熱案[illegible]制限[illegible]含[illegible]有効成分尚稀薄ナ[illegible]氣治療ノ目的[illegible]

○[illegible]米中ノ有効成分ヲ取出シ之ヲ脚氣治療ノ目的ニ使用[illegible]實際的治療法[illegible]到達[illegible]アンチベリベリン療法[illegible]

○[illegible]米中ノ脚氣有効成分[illegible]内外ノ學者競テ之ガ化學的ノ確定[illegible]究成績ノ發表アリシハ吾人ノ尚記憶ニ新[illegible]就中英人 Funk 氏ノ[illegible] Vitamin [illegible]化學的報告中最先最精ノモノト謂[illegible]氏ガ糠中ノ有効成分ニ[illegible]ノ名稱ヲ冠セ[illegible]ガ生物學的ニ檢證スベキ糠中ノ脚氣有効成分ニアンチベリベリント命名セシ時期ニ後レタリト雖モ「ウイタミン」ノ名稱ハ却テ速ニ學界ニ普及シ殆ト斯界ノ通用語タルニ至レリ（脚氣治療法トシテノアンチベリベリンノ名稱ハ固ヨリ「ウイタミン」ノ為ニ侵害セラルヽコトナシ）フンク氏ハ幾多研究ノ後糠中ノ有効成分即チ所謂「ウイタミン」ノ化學的構造ヲ發見シタルモ爾後其ノ結晶ノ他物ナリシコト氏自己ノ告白ニ由リ判明シ之ガ爲其ノ化學式ハ不幸[illegible]ノ如クニ消滅セリ我邦ニ於テハ鈴木氏最モ深ク糠中ノ有効成分ニ對スル化學的研究ニ沒ダ始メ之ヲ「アベリシ一酸」ト命名シ後「オリザニン」ト訂正シ尚其ノ結晶ノ寫眞圖ヲモ發表セリ然レドモ氏ガ「オリザニン」トシテ市場ニ供給スル製品ハ「エキス」劑及液劑タル不純ノ混成品ナルガ故ニ氏ガ報告セシ結晶ガ果テ之ト同一ナリヤノ判定ハ未ダ何人モ容易ニ下シ能ハザル所ナラン又遠山氏モ相前後シテ化學的ノ研究ヲ行ヒ始メ銀皮酸ト命名シ後「ウリセン」ト訂正セリ而テ氏ノ供給スル製品モ亦化學的純粹物ニアラザルガ故ニ氏ガ化學的研究ノ成効モ亦事實的證左ヲ缺クモノト謂ハザルベカラズ要スルニ脚氣有効成分ノ化學的闡明ハ一時學者ノ論爭的目標トナリ幾多ノ報告續出[illegible]其ノ眞ノ正體ハ未ダ捉ヘ能ハザルモノト判斷セザルヲ得ザルナリ

○[illegible]脚氣有効成分ノ化學的闡明ハ爲シ得レバ最モ望マ[illegible]ト雖モ今日ニ於テハ暫ク[illegible]成効ヲ待ツベカラズ予ガ千九百十三年ニ[illegible]氏指導下ニ於ケル化學的研究モ亦何等ノ成績ヲ齎ス[illegible]ナクシテ終レリ

○予ハ茲ニ予ガアンチベリベリン療法ノ創定ハ決シテ[illegible]此ノ化學的研究ノ基礎ニ立ツモノニアラズ[illegible]生物學的研究ヲ基礎トセシモノナルコトヲ明言セント欲ス即チ先ヅ生物學的ニ明ニ檢證シ得ベキ脚氣有効成分ヲ捕捉シ動物試驗ヨリ起シテ臨床實驗ニ及ビ階段的ニ幾多ノ事實ヲ確定シ茲ニ始メテ脚氣ニ對スルアンチベリベリン療法ヲ創始スルコトヲ得タルモノトス

○生物學的研究ヲ基礎トシテ成立セル療法ニハ「ヂフテリア」血清療法ノ先例アリ彼ノ「ヂフテリア」ノ毒素及抗毒素ノ化學的造構ハ今日尚不明ナリト雖モ毒素及抗毒素ノ存在ハ生物學的ニ明ニ檢證シ得ベキガ故ニ之ヲ根據トシ動物試驗及臨床實驗ヲ經テ「ヂフテリア」血清療法ハ茲ニ確立セラレ因ニ人生ニ一大幸福ヲ與ヘタルハ吾人ノ實際ニ目撃セシ事實ニシテ其ノ發見者タルベーリング及北里氏ノ偉績ハ今ヤ何人モ否認シ能ハザル所ナラン當時發見者ガ毒素及抗毒素ノ化學的闡明ニ沒頭シカヽル治療法ノ開拓ニ用井ラレザリシ時ハ則チ如何思フニ人生ニ裨益アル「ヂフテリア」血清療法ハ今日尚[illegible]ノ聲ヲ世ニ擧グルニ至ラザリシヤモ知ルベカラザルナリ

ベーリング氏及北里氏ハ共ニ予ガ恩師ニシテ予ハ兩先生ニ私淑セシ所少カラズト信ズ予ハ故ニ予ガアンチベリベリン療法ヲ創始スルニ當リテモ一ニ範ヲ之ニ取リ化學的闡明ハ暫ク之ヲ他日ニ讓リ先ヅ生物學的ニ檢證シ得ベキ脚氣有効成分ヲ捕捉シ一事實ノ確定ヨリ進デ他事實ノ確定ニ移リ遂ニ實際的ニ治療ノ効ヲ擧ゲ得ベキ我ガアンチベリベリン療法ヲ創始スルコトヲ得タリ

○予ハ茲ニ本報告ヲ發表スルニ當リ未ダ脚氣有効成分ノ化學的闡明ニ一歩ヲ進メ得ザルコトヲ告白セザルヲ得ザルヲ以テ遺憾トス予ハ故ニ本報告ニ於テハ單ニ大正五年中ニ於ケルアンチベリベリン療法ノ實際的治療上ノ進歩ヲ報告スルニ止メ以テ靜ニ他日ノ大成ヲ期スルモノナリ

（第二章以下省略）

日英米獨政府專賣特許 かつけ新藥「アンチベリベリン」

發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局 電話芝二一八二番 振替東京七八五〇番

水々しい黒髪となる……

純良香油に美毫劑を調和しあれば如何なる髪でも一度で忽ち色艶を現す

髪結さんの評判となった ホーカー美髪液

夏のお髪の色艶をよくし、總てのクセ毛を直し、フケを去り、御使ひになつて非常によい匂ひが致しますから香水代用となります、サラリとしたお髪を夕風に靡かせて逍遥の御婦人は悉くホーカー美髪液の御愛用者で厶います

ホーカー美髪液定價 大瓶一瓶 二十五錢 小瓶一瓶 二十錢

[illegible]各地到る處に販賣す品切れの節は直接本舖迄[illegible]又は三錢切手代用にて御注文

東京神田區和泉町 ホーカー本舖 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

天下一品 金牌受領 猪印のみとり粉

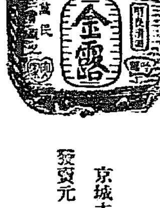
定價 一立 金二十錢 吹出散布器入 金十錢、金五錢 到ル處ニ販賣店アリ

南京虫、蚤、油虫等退治 全滅する事請合

純良の藥品と賣藥が揃つて居ります クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角 古城贅化堂 電話一〇二番 振替七三七番

内科 小兒科 （入院隨意） 京城櫻井町（電一一七一番） 池上醫院



攝津灘 大塚釀造所吟製

發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 京城日報社代理部 振替三〇番

尼崎汽船 仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○君か代丸 八月廿八日後四時出帆
○大有丸 八月廿三日後四時出帆
○秀吉丸 八月 日後四時出帆
○神代丸 月 日後四時出帆
▲印大阪直行

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆

芝罘、大連行 第廿共同丸 八月廿一日午後入港 八月廿三日前十時出帆

[illegible]

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會 春日町（電話二四四七番） 元山代理店 田口回漕部 南大門（電話二六八〇） 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 ○和歌浦丸 八月廿五日後五時出帆
○立神丸 八月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 ○和歌浦丸 八月 日後十時出帆
○立神丸 八月廿四日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、芦邊、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

商況

東京期米（十七日前場） [illegible]

▲依然强硬 [illegible]

人口の増加並に市内に散在せる鮮人移轉の目的の下に新町東側に新たに貸座敷指定地域約四千八百九十三坪[illegible]